

二 中國改革借款一件 二六五

第一七九四号 (十一月三十日接受)

往電第一七五五号ニ閲シ十二月二十九日武内ヨリ一千万円前貸契約案(金額ノ用途ニ閲スル事項ノ外第一回前貸契約文ト同一ナリ)ヲ財政總長ニ提示シ置キタル処右ニテ異存ナキ旨今三十日回答シ来リタルニ付一月四日調印ヲ了スル

答ナル趣報告シ來レリ尚残一千万円ニ付テハ追テ更ニ協議スルコトトスベシト申入レ置キ度旨武内ヨリ伺出タルニ付之ニ同意シ置ケリ不取敢

事項三 対中國借款關係雜件

- 一 交通銀行借款
- 二 興亞公司借款
- 三 広東省セメント廠借款

ニ致度至急關係ノ向ト御協議ノ上四日午前迄ニ何分ノ義御電訓ヲ請フ尚御参考迄ニ左記諸点申添フ

(一)我方ニ於テ大体支那側ノ希望容ルルコトトナリタル趣早速曹汝霖ヨリ段總理ニ内報シタル処段ハ大ニ満足ノ意ヲ表シタル由

(二)曹汝霖ハ西原ニ対シテモ交通銀行總理トナルヘキコトヲ内話シタル由

(三)別電第四条四ノ債權証書ハ二百万両ヨリモ少ナク減スルヤモ計難キモ百五十万両以上ナレハ同意スルコトニ致度シ

(四)別電第八条備案トハ記録ニ存スル意味ニ過キサルモ本借款調印ノ上外交部ヲ経テ當館ニ通知シ來ルコトニ打合成立シ居ルニ付結局支那政府承認ノ形トナルヘシ

々提示ノ上確実ト認メタル場合ニハ直ニ調印セシムルコト

三 対中國借款關係雜件 (一) 二六六

三 对中国借款関係雑件 (一) 二六七

理及陸宗輿調印ス

(六) 仮契約ノ文句等ハ支那側ノ希望ニ副フ趣旨ニテ作成シタ
ルモノニ付不十分ノ点ハ本契約ニテ補正スルコトトシ今

回ハ成ルヘク其儘ニテ同意スル様關係者ニ口添アリ度シ

註 本野外務大臣発在中国林公使宛電報第五六一號ニ付テハ日

本外交文書大正五年第二冊五三三文書參看

(別
電)

一月二日在中國林公使發本野外務大臣宛電報第五号

第五号 別電

仮契約書案

日本興業銀行朝鮮銀行及台灣銀行(以下三銀行ト称ス)ハ
交通銀行業務整理借款ノ為交通銀行トノ間ニ左ノ条項ヲ約
定ス

第一条 本借款全額ヲ日本金貨五百万円トシ三銀行ハ其全
額ヲ無手数料ニテ交通銀行ニ交付スルモノトス

第二条 本借款ノ利子ハ年七分五厘即チ金百円ニ対シ金七
円伍拾錢ノ割合トシ毎年二回ニ分チ交通銀行ヨリ前払ス
ルモノトス

第三条 本借款償還期限ヲ満三ヶ年トス

但シ期限前ニ完済スルコトヲ得

交通銀行借款仮契約調印差支ナキ旨回訓ノ件

第二号 至急

貴電第四号ニ閲シ御來示ノ通リニテ異議ナキニ付調印差支
ナシ

二六八 一月五日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

交通銀行借款仮契約ノ調印期日及手筈等二付

報告ノ件

第一二号

貴電第二号ニ閲シ四日西原ヨリ仮契約案ヲ主ナル重役ニ示
シ同意ヲ得タルモ先方ニ於テ念ノタメ重役會議ニ附議シタ
キ旨申出テ五日午後同會議ノ同意ヲ経タル上六日調印ノ予
定ナリ將又担保中海蘭鐵道債權以外ノ分ハ財政部ノ台帳照
合整理等ノタメ手間取り提示迄ニハ尚數日ヲ要スル趣ニ付
調印ノ際念ノタメ支那側代表者ヨリ右担保ハ整理完了次第

遅滞ナク提示スヘキ旨書面ヲ差出サシムルコトニ打合ラ了

セリ今回ノ契約ハ仮契約ノコトニモアリ右ニテ差支ナカル
ヘシト認ム尚仮契約ニハ從来ノ行懸モアリ西原河野兩人ヲ
シテ調印セシムルコト、ナセリ御含置ヲ請フ

三 対中国借款関係雑件 (一) 二六八 二六九 二七〇

第四条 本借款担保品左ノ如シ

二三六

一 国庫債券二二百万両

四 支那政府ニ對スル交通銀行債権証書約二百万両

二 国庫債券六十八万元

三 龍海鉄道債券百三十万元

四 支那政府ニ對スル交通銀行債権証書約二百萬両

第五条 本借款金額ハ交付当日ノ為替相場ニ依リ在上海台

湾銀行支店ニ於テ受授スルモノトス

第六条 交通銀行ハ本借款期限内ニ於テ三銀行ノ推薦スル
顧問一名ヲ傭聘シ一ヶ年日本金貨一万円ノ報酬ヲ支給ス

ルモノトス

第七条 交通銀行ハ整理案確立シ必要ノ資金ヲ外国人ヨリ
借入レントス場合ニハ適當ノ条件ニ依リ先ツ三銀行ト
第二次ノ借款ヲ商議スルモノトス

第八条 本借款契約ハ交通銀行ヨリ支那政府ニ呈明備案ス

ルモノトス

右証拠トシテ日本文及支那文ヲ以テ各々一通ノ仮契約書ヲ
作製シ茲ニ署名調印ス

二六七 一月三日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

二六九 一月七日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

日本人顧問ノ条項ハ交通銀行借款仮契約案曰

リ除外シ別約トシタル件

第一六号

往電第一二号ニ閲シ五日契約案ヲ重役會議ニ提出シタル所
顧問ニ閲スル條項ハ繩ニ中國銀行ニ英人 Lucas ヲ傭入レ
物議ヲ招キタル例モ有リ之ヲ契約面ヨリ除キ別ニ書面ニテ
約束スルコトナシタシトノ説起リ其儘通過ノ見込ナキタ
メ西原ヨリ右修正案通り書面トナスコトニ同意シ其結果八
日更ニ重役會議ヲ開キ正式ニ承認ノ上同日調印スル筈ナリ
顧問ノ件ヲ書面ニテ取極ムルコトハ本使ニ於テモ差支ナカ
ルベシト認メ支那側希望通り取計然ルベキ旨西原ニ指示ヲ
与ヘ置キタリ

二七〇 一月八日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

交通銀行借款仮契約ハ一月八日調印ヲ見曹汝霖交通銀行總

三三七

三 対中国借款関係雑件（一）二七

裁ニ就任シ交通銀行側ハ同人ニ於テ調印セリ不取敢

二七一 一月九日 在中國林公使ヨリ

本野外務大臣宛

交通銀行借款仮契約書及附屬文書送付ノ件

附屬書一 一月八日附假契約書

二 一月八日附顧問傭聘ニ関スル往復書面

三 一月八日附担保品提示ニ関スル書面

機密第九号

大正六年一月九日

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

交通銀行借款仮契約書送付ノ件

過般來我興業、朝鮮、台灣三銀行代表者ト交通銀行代表者
トノ間ニ商議中ナリシ五百万円借款仮契約本月八日調印済
ノ次第八即日往電第二三号ヲ以テ及報告置候處右仮契約書
日漢文顧問傭聘ニ関スル往復書面及担保品提示ニ関スル書
面各一括本書茲ニ及送付候間關係者ニ転達方可然御取計相
成度此段申進候也

（一月十五日接受）

（写）
仮契約書

日本興業銀行朝鮮銀行及台灣銀行（以下三銀行ト称ス）ハ
交通銀行業務整理借款ノ為交通銀行トノ間ニ左ノ条項ヲ約
定ス

第一条 本借款金額ヲ日本金貨五百万円トシ三銀行ハ其全
額ヲ無手數料ニテ交通銀行ニ交付スルモノトス

第二条 本借款ノ利子ハ年七分五厘即チ金百円ニ対シ金七
円五拾錢ノ割合トシ毎年二回ニ分チ交通銀行ヨリ前払ス
ルモノトス

第三条 本借款償還期限ヲ満三個年トス
但シ期限前ニ還済スルコトヲ得

第四条 本借款担保品左ノ如シ

草合同

日本興業銀行朝鮮銀行及台灣銀行（以下三銀行ト称ス）ハ
因為交通銀行整理
業務借款之事与交通銀行訂立条款如左

第一条 此項借款日本金伍百萬元整由三銀行全數交与交通
銀行並無折扣及佣費

第二条 借款利息按年七厘五分即日本金壹百円按日本金七
円五拾錢核算每年分二次由交通銀行前期交付

第三条 借款償還期限三年為滿但得期前還清

第四条 借款担保品如左

一 国庫債券二百万兩

二 国庫債券六拾八萬元

三 龍泰予海鐵道債券壹百參拾萬元

右証拠トシテ日本文及支那文ヲ以テ各二通ノ仮契約書ヲ作
成シ茲ニ署名調印ス

大正六年一月八日

日本興業銀行
朝鮮銀行 代表者 河野久太郎(印)
台灣銀行 代表者 曹汝霖(印)

三 対中国借款関係雑件（一）二七

二三八

追テ別紙仮契約書第六条ニ「借款期限内」ナル五字ヲ挿
入致候處右ハ調印ノ際支那側ヨリ特ニ申出アリ三銀行代
表者ニ於テ差支ナシト認メ直ニ同意ノ上挿入シタル次第

ニ有之又第四条第四号ハ日本文ニハ約式百万両トアリ支
那文ニハ約ヲ脱シ居ルモ右ハ担保品整理ノ上確定可致候
間為念申添候也

（附屬書一）

機密第九号

大正六年一月九日

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

交通銀行借款仮契約書送付ノ件

過般來我興業、朝鮮、台灣三銀行代表者ト交通銀行代表者
トノ間ニ商議中ナリシ五百万円借款仮契約本月八日調印済
ノ次第八即日往電第二三号ヲ以テ及報告置候處右仮契約書
日漢文顧問傭聘ニ関スル往復書面及担保品提示ニ関スル書
面各一括本書茲ニ及送付候間關係者ニ転達方可然御取計相
成度此段申進候也

（一月十五日接受）

（写）
仮契約書

日本興業銀行朝鮮銀行及台灣銀行（以下三銀行ト称ス）ハ
交通銀行業務整理借款ノ為交通銀行トノ間ニ左ノ条項ヲ約
定ス

第一条 本借款金額ヲ日本金貨五百万円トシ三銀行ハ其全
額ヲ無手數料ニテ交通銀行ニ交付スルモノトス

第二条 本借款ノ利子ハ年七分五厘即チ金百円ニ対シ金七
円五拾錢ノ割合トシ毎年二回ニ分チ交通銀行ヨリ前払ス
ルモノトス

第三条 本借款償還期限ヲ満三個年トス
但シ期限前ニ還済スルコトヲ得

第四条 本借款担保品左ノ如シ

草合同

日本興業銀行朝鮮銀行及台灣銀行（以下三銀行ト称ス）ハ
因為交通銀行整理
業務借款之事与交通銀行訂立条款如左

第一条 此項借款日本金伍百萬元整由三銀行全數交与交通
銀行並無折扣及佣費

第二条 借款利息按年七厘五分即日本金壹百円按日本金七
円五拾錢核算每年分二次由交通銀行前期交付

第三条 借款償還期限三年為滿但得期前還清

第四条 借款担保品如左

一 国庫債券二百万兩

二 国庫債券六拾八萬元

三 龍泰予海鐵道債券壹百參拾萬元

右証拠トシテ日本文及支那文ヲ以テ各二通ノ仮契約書ヲ作
成シ茲ニ署名調印ス

大正六年一月八日

日本興業銀行
朝鮮銀行 代表者 河野久太郎(印)
台灣銀行 代表者 曹汝霖(印)

三 対中国借款関係雑件（一）二七

三 対中国借款関係雑件 (一) 二七五

二四二

許ハ本件借款ハ結局交通銀行ヲ日支合弁トナスモノナラム
ト評シタルニ付曹ハ之レ又陳ニ対スルト同様ノ説明ヲナシ

タル旨並ニ張勲ハ交通銀行ノ大株主ニテ今回ノ借款商議ヲ
聞込ミタル節合弁ニハ反対ナリトノ主意ヲ電報シ来リタル

為徐世昌ヨリ本件商議ハ同銀行利益ノ為陸宗輿ヲシテ交渉
ノ衝ニ当リ居ラシムル次第ナル旨ヲ返電シ陸ヨリモ右商議

ハ自分ニ於テ責任ヲ以テ交渉シツツアル次第ニ付安心セラ
レ度ク尚近日中自身徐州ニ往訪ノ上詳細親シク説明スヘキ

旨ヲ電報シタル為張ハ漸ク同意ノ旨返電シ来リタルモノニ
テ之レカタメ調印ハ四日ヨリ八日ニ延期セラレタル次第ナ

ルカ支那側内部ノ事情ハ大体右様ノ次第ニ付日本側ニ於テ
モ宜シク諒察セラレタキ旨語リタル趣ナルカ右ニ依リ察ス

ルニ今回曹ヲ同銀行總理ニ推スニ至リタルハ徐世昌段祺瑞
等カ右ノ如キ難局ヲ切抜クルハ曹ヲ措キ他ニ適當ノ人物ナ

キヲ認メタル結果ナルヘク兎ニ角交通銀行借款以外ニモ興
味アル報道ニ付不取敢(奉天経由一月十四日前二三〇)

銀行代表者間ノ覚書送付ノ件
附屬書 一月十三日附右覚書

機密第一五号

(一月二十二日接受)

大正六年一月十七日

(一月二十二日接受)

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

交通銀行借款ニ關スル件

本月十三日交通銀行及日本三銀行代表者間ニ担保品及現金
受授ニ關シ覚書ヲ作成調印シタル次第ハ往電第五一号ヲ以
テ及報置候處右覚書写同訳文茲ニ及送付候間關係銀行ニ
御転達相成度此段申進候也

追而覚書本書ハ二宮興銀理事ニ交付可致候間為念申添候
也

(附屬書)

写

日本興業銀行、朝鮮銀行、台灣銀行ト交通銀行ト
日本興業銀行、朝鮮銀行、台灣銀行三銀行与交通銀行依拠本月八日簽訂之借
款草約將關於担保品及現金授受之事項協訂如左

二七五 一月十七日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛

担保品及現金受授ニ關スル交通銀行及日本三

一交通銀行応備委任状隨同担保品交付三銀行該委任狀中言
明証券所載之金額委任三銀行收取

二三銀行收到交通銀行担保品及委任狀時應具保管証書交付
交通銀行但保管証書中應載明左列二項

(一)於借款期內三銀行不得持証券及委任狀向發行機關收款
(二)於借款期內各項証券到期時三銀行應將旧券向交通銀行

調換新券

但三銀行正式証書未到以前由河野久太郎代具保管証書交
付交通銀行俟正式証書寄到時交換

三交通銀行將擔保品提示時三銀行除當扣半年利息日金十八
萬七千五百元外應將借款日金四百八十一萬二千五百元如
數在本京交付交通銀行代理人照收

四交通銀行代理人收到前項金額時按往來存款分存三銀行交
通銀行用款時由代理人提取三銀行依拠草約第五条在上海
台灣銀行支店照交

交通銀行代表 曹 汝 霖

三銀行代表 西原 亀三

河野 久太郎

中華民国六年一月十三日

三 対中国借款関係雑件 (一) 二七五

但シ三銀行ノ正式証書未達以前ハ河野久太郎ヨリ保管証
書ヲ交通銀行ニ交付シ正式証書ノ到達ヲ俟チ交換スヘシ
三、交通銀行カ担保品ヲ提示セル時ハ三銀行ハ半年利息日
本金十八万七千五百元ヲ引去リタル外借款日本金四百八

三 対中国借款関係雑件（一）二七六

十二万二千五百元ヲ東京ニ於テ交通銀行代理者ニ交付ス
ヘキモノトス

四、交通銀行代理者カ前項ノ金額ヲ受取リタル時ハ當座預
ケトシテ三銀行ニ分預シ交通銀行ニ於テ之ヲ使用セムト
スル時代理者ヨリ引出スヘク三銀行ハ仮契約第五条ニ拠
リ上海ノ台灣銀行支店ニテ交付スヘキ者トス

中華民国六年一月十三日

交通銀行代表 曹 汝 霖

三銀行代表

西 原 亀 三
河 野 久 太 郎

二七六 一月十八日 在中國公使ヨリ

「交通銀行ト曹汝霖一ト題スル仮字紙論說報

告ノ件

附屬書 一月十七日附「ル、ジュルナル、ド、ベカン」

社説摘訳

（一月二十三日接受）

大正六年一月十八日

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助（印）

那財界ノ救済ニハ差当リ中國及交通兩銀行ノ合併最モ緊急
ナリト信セラルガ來ル三月初旬財政部ニ於テ開カルベキ
會議ニハ財政次長、參事、司長等ヲ始メ地方ニ於ケル財務
當局ヲ網羅スルヲ以テ両銀行ノ合併ヲ始メ幾多ノ金融界改
善ニ関スル案件決定セラルヘシト察セラル云々

二七七 一月十九日 在中國公使ヨリ

交通銀行五百万円借款ニ關シ中國衆議院ニ於

テ質疑応答ノ件

公第二五号

大正六年一月十九日 （一月二十七日接受）
在支那

特命全權公使男爵 林 権 助（印）

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

交通銀行五百万円借款質問ノ件

一月十八日ノ衆議院ニ於テ錢議員ハ交通銀行五百万円借款
ニ關シ財政交通兩總長ノ説明ヲ求ムル為其出席ヲ要求スル
ノ動議ヲ提出シ多數賛成成立シ許交通總長ハ午後四時出席

シ各議員ノ質問ニ對シ一々明確ナル契約内容ノ説明ヲ為シ

三 対中国借款関係雑件（一）二七七 二七八 二九

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

「交通銀行ト曹汝霖」ニ關スル「ル、ジュルナル、ド、ペ
カン」（露仮側機関紙）一月十七日社説御参考ノ為摘訳ノ上
別紙ノ通及報告候間御查閱相成候様致度此段申進候也

（附屬書）

「交通銀行ト曹汝霖」摘要

曹汝霖カ交通銀行總理ニ新任セラルルヤ支那新聞紙及北京
ノ實業家中ニハ彼此論評ヲ加フルモノ甚タ多ク例之從來事

態ノ紛糾ニ依テ利益シ從テ財界ノ整理ヲ喜バザルモノ又ハ
曹氏カ曾テ外交部ニ在職セシモノ政敵等ハ早クモ論難ノ鋒
先ヲ向ケ交通銀行營業ノ恢復ハ日本諸銀行ヘノ援助懇請
ニ外ナラズトサヘ論ズルモノアルガ着実ナル支那實業家等

ハ寧ロ同行紙幣ノ信用カ一日モ早ク改善セントヲ切望シ
（彼等ノ中ニハ内々紙幣ノ市価変動ニ依リテ利益セシモノ
多シト雖モ）同行營業改善ノ原因ガ日本諸銀行ノ援助ニ出
ヅルト否トノ如キハ別段深ク介意セザル有様ナリ抑モ支那

紙幣ノ信用恢復ハ刻下ノ最大急務ニ属シ交通銀行ノ整理ハ
如何ナル手段ニ依ルモ之レヲ断行セザル可カラズ而シテ支
顧問ハ當業ヲ監督束縛スルノ性質ナク又本借款ハ銀行ノ整
理乃至兌換開始ニ有益ナル旨ヲ述ヘ又交通銀行ハ商業銀行
ニシテ本契約ハ國庫ノ負担ヲ増スモノニ非ザレハ國会ニ附
議スルノ要ナシト明言シ某議員カ将来若シ本借款還済不能
ノ時銀行ハ破産ニ陥ルノ危險ナキヤトノ質問ニ對シ銀行ハ
政府ニ對シ一千八百余萬元ノ立替支出アレバ一朝右ノ場合
ニ際会セバ當然政府ノ立替金ヲ收回スルヲ以テ破産ニ陥ル
ノ危険ナキ旨ヲ答ヘ議員間ニモ固ヨリ極端反対ノ模様ヲ認
ヌズ候

右及報告候也

二七八 一月二十日 在中國公使ヨリ

交通銀行借款本契約調印済ノ件

第八三号

（一月二十一日接受）
交通銀行借款本契約二十日調印済

二七九 一月二十二日 在中國公使ヨリ

本野外務大臣宛（電報）

交通銀行借款本契約写及顧問傭聘ニ關スル確

認書写送付ノ件

二四五

三 対中国借款関係雑件（二）二七九

二四六

附屬書一 一月二十日附右契約書寫

二 一月二十日附二宮興理事ヨリ曹交通銀行總理宛確認書写

第三条 此項借款利息按年柒釐伍分即日金每壹百円按日金

機密第二号

大正六年一月二十二日

（一月二十七日接受）

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助（印）

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

交通銀行借款本契約写送付ノ件

本月二十日交通銀行借款本契約調印済ノ次第ハ即日往電第八三号ヲ以テ及御報告置候処右本契約写及ビ顧問問題ニ關シ二宮理事ヨリ交通銀行總理ニ交付シタル確認書写一併茲ニ及御送付候条御查閱相成度此段申進候也

（附屬書一）

一月二十日調印ノ交通銀行借款契約書写

中華民国交通銀行（下称甲）為整理業務起見向日本國株式会社日本興業銀行株式会社台灣銀行及朝鮮銀行三銀行合組以株式会社日本興業銀行為代表之銀行團（下称乙）借日金

伍百万円所有訂立合同条件開列於左
第一条 此項借款日本金伍百万円

第二条 此項借款期限自本合同簽字之日起算滿參年為限即迄民國六年七月十九日為止按日核算先期交付以後每年於七月二十日及一月二十日先期交付半年利息

第三条 此項借款利息按年柒釐伍分即日金每壹百円按日金柒円伍拾錢核算付給

第四条 此項借款利息第壹回付息應以借款金額交付之日起

迄民國六年七月十九日為止按日核算先期交付以後每年於七月二十日及一月二十日先期交付半年利息

第五条 乙於收到本合同第十条所載担保品後應將此項借款全部金額（除第一回應扣利息）在東京交付於甲之代理人

第六条 甲之代理人收到前条借款全部金額之時可作為存款存入乙之銀行隨時提用

甲之代理人關於前項存款之條件及匯款方法可在東京與乙協定

第七条 此項借款全部實數交款並無折扣及佣費

第八条 此項借款將來還款付息均在東京辦理

第九条 此項借款於期滿前甲亦得全部償還惟須於三個月前予行聲明

第十条 甲為擔保還本付息起見提供左列物件作為擔保品

一 隻秦予海鐵路債券額面壹百參拾萬元

株式会社日本興業銀行

總裁志立鉄次郎代理

理事 二 宮 基 成（印）

（右和文）

（写）

支那國交通銀行（以下甲ト称ス）ハ其業務整理ノ為メ日本帝國株式会社日本興業銀行、株式会社台灣銀行及朝鮮銀行ノ三行ヲ以テ組成シ株式会社日本興業銀行ヲ以テ代表者トシタル銀行團（以下乙ト称ス）ヨリ日本金貨五百万円也ノ借款ヲ為スニ付兩者ノ間ニ左ノ条項ヲ契約ス

第壹条 本借款金額ハ日本金貨五百万円トス

第貳条 本借款期限ハ本契約調印ノ日ヨリ起算シ參ヶ年即チ大正九年壹月拾九日中華民國第九年壹月拾九日迄トス

第叁条 本借款利子八年七分五厘即チ日本金貨壹百円ニ付日本金貨七円五拾錢ノ割合ヲ以テ仕払フモノトス

第四条 本借款利子第一回ハ借款金額交付當日ニ於テ大正六年七月拾九日迄ノ分ヲ日割計算ニテ前払シ爾後毎年七

月武拾日及壹月武拾日ニ於テ後六ヶ月分ヲ前払スルモノ
大正六年一月二十日
交通銀行總理 曹 汝 霖（印）
交通銀行協理 任 凤 荷（印）
トス

三 対中国借款関係雑件（一）二七九

二四八

第五条 乙ハ第拾条ニ記載シタル担保物件ヲ受取リタル後
第壹回ノ利子ヲ控除シタル本借款金額ヲ東京ニ於テ甲ノ
代理人ニ交付スルモノトス

第六条 甲ノ代理人カ前条ノ金額ヲ受取リタルトキハ之ヲ
乙ニ預入レ甲ハ必要ニ応シ隨時之ヲ引出スモノトス
甲ノ代理人ハ前項預金ノ条件及送金ノ方法ニ関シ別ニ東
京ニ於テ乙ト協定スルモノトス

第七条 本借款金額ハ全部無手数料ニテ之ヲ交付スルモノ
トス

第八条 本借款金額ノ返済及利子仕払ハ東京ニ於テ之ヲ為
スモノトス

第九条 本借款ハ期限前ト雖モ甲ハ参ヶ月前ノ予告ヲ以テ
全部償還ヲ為スコトヲ得ルモノトス

第十条 甲ハ本借款ノ元金及利子仕払ニ対スル担保トシテ
左ノ物件ヲ乙ニ提供スルモノトス

一、隴秦予海鉄路債券額面壹百參拾萬元
二、支那政府國庫債券額面四百万元

三、交通銀行ニ對スル支那政府債務証書貳百四拾貳万五
千六百八拾七元六拾八仙

第拾壹条 甲ハ前条ノ担保物件全部ヲ証券所載金額ノ收取
ニ必要ナル委任状ト共ニ北京ニ於テ乙ニ引渡シ乙ハ之ニ
対シ担保品預リ証ヲ甲ニ交付スルモノトス

第拾貳条 甲カ元利金ノ償還ヲ怠リタルトキハ乙ハ第拾条
ノ担保物件ヲ任意ニ処分シ其元利金ノ弁済ニ充ツルコト
ヲ得ルモノトス

第拾叁条 甲ハ本借款期限内必要ノ資金ヲ外国ヨリ借入レ
ントスル場合ニハ適當ノ条件ヲ以テ先ツ之ヲ乙ニ商議ス
ルモノトス

第拾肆条 本借款契約ハ甲ヨリ支那政府ニ呈明備案スル
モノトス

本契約書ハ日支兩文ヲ以テ各式通ヲ作成調印シ甲乙互ニ各
壻通ヲ保有スルモノトス

大正六年壹月貳拾日

中華民国第六年壹月貳拾日

交通銀行

總理 曹 汝 霖(印)

協理 任 凤 苞(印)

株式会社日本興業銀行

総裁志立鉄次郎代理

理事 二宮 基 成(印)

(附属書二)

日本人顧問傭聘ニ關スル一月八日附往復書面ノ確認書

(写)

拝啓陳者本年一月八日附貴翰ヲ以テ西原河野両名宛御申越
有之両名ヨリ一月八日附書翰ヲ以テ御返事致候顧問傭聘ノ
件及貴翰御記載ノ条件ニ關シテハ銀行團代表者タル小生ニ
於テ委細承認仕候

大正六年一月二十日

日本興業銀行理事

二宮 基 成(印)

交通銀行総理 曹汝霖殿

二八〇 一月二十四日

在北京坂西陸軍大佐ヨリ
上原參謀長宛電報

交通銀行借款ニ付ニ宮理事ヨリ黎大總統説明

シタルニ対シ同大總統意見開示ノ件

坂極秘電第十一号

今回交通銀行借款取極ノ為渡來セル我興業銀行理事二ノ宮

三 対中国借款関係雑件（一）二八〇

本日大總統ニ會見ス大總統末タ借款ノ内容ヲ知ラヌ風ナリ
シ故ニノ宮ハ其条件ノ概要ヲ説明シ尚ホ今回ノ借款ハ日支
兩國共通ノ利益ヲ増進スルヲ目的トスル我政府ノ方針ニ則
リ三銀行カ誠意ヲ以テ之ニ応シタルモノナルコトヲ述ヘタ
ルニ大總統曰ク交通銀行ハ由來其内容頗る繁雜ヲ極メ或ハ
政權爭奪ノ為或ハ個人ノ懷ヲ肥ス為利用セラレタル形跡ア
リシヲ以テ爾後ハ斯ル不正ノ事ナク確実ニ該銀行ノ条令ニ
照シテ其業務ヲ整頓スルコトヲ希望シツ、アリ今回借款ノ
如キモ少數株主ノ決議ニ依リ銀行限リニテ行ヒタリトセハ
政府ハ固ヨリ之ニ干渉セザルモ要スルニ曖昧ノ事ナク其借
款使途ノ如キモ之ヲ明確ニスル必要アリ云々ト恰モ交通銀
行今回ノ借款ニハ何等カ陰謀ノ其間ニ含マル、ヲ疑フ如キ
口吻ヲ洩シタリト元来今回ノ借款ハ財政交通兩總長カ米國
ニ求メツ、アリシ間ニ成立シタルモノニシテ財政總長陳錦
濤ノ如キハ此借款ハ日本ノ野心ヲ逞ウセシメ交通銀行ヲシ
テ遂ニ日本人ノ掌中ニ委スヘキ危險ナルモノナリトテ極力
反対シタルモノナレトモ段祺瑞ノ決心ト徐世昌ノ援助ト交
通銀行側ノ運動決心共ニ敏活ナリシト我銀行ノ態度又頗ル

公平誠実ナリシトヲ以テ今日迄ニハ大ナル障害ナク既ニ調
査

二四九

印シ一昨二十二日担保品ノ受授ヲ終リタル次第ナリ
右大總統ノ言ハ恐ラク財政交通両総長ノ報告ニ基ツクモノ
ナリト想像セラル而シテ此ノ如ク今日迄大總統ヲシテ其借
款内容ヲ知ラシメサルコト並ニ大總統力交通銀行特ニ数多
ノ銀行董事會ノ選舉ニ依リ總理トナリタル曹汝霖ニ対シ今
尚ホ不安ノ念ヲ抱キツ、アルコト等ハ遇々支那現政府ノ内
容ヲ語ルモノナリト信シ特ニ報告ス、

二八一 一月二十六日 斎藤在中国日本公使館付陸軍武官ヨ
上原參謀總長宛(電報)

交通銀行借款ニ閲シ參議院ニ於ケル質疑応答

報告ノ件

支普一九

昨二十五日參議院ハ緊急動議ヲ以テ議事日程ヲ変更シ許交
通總長ノ出席ヲ求メタル上交通銀行借款ニ閲シ質問ヲ為セ
リ、其議員先ツ質問ヲ發シテ曰ク、第一、許總長ノ報告ニ
依レハ交通銀行ハ商業銀行ノ性質ヲ有シ借款ハ商業借款ナ
ルヲ以テ同銀行ノ借款ハ株主會議ノ決議ヲ経ルヲ要ス今回
ハ果シテ此ノ事アリシヤ否ヤ、第二、本借款ハ外國借款ニ
シテ該銀行ハ商業ノ性質ヲ有スル以上先ツ政府ノ許可ヲ受

二八二 一月二十七日 在北京坂西陸軍大佐ヨ
上原參謀總長宛(電報)

交通銀行借款ニ對スル黎總統段總理ノ見解報

告ノ件

ケザルベカラス果シテ之ヲ実行セシヤ否ヤ、第三、該借款
ハ國家ノ交通収入ヲ取扱ヒ且ツ其ノ他ノ關係アルヲ以テ國
家特別ノ關係アリ故ニ該銀行ノ負担ヲ増スハ即國庫ノ負担
ヲ増スニ等シト、之ニ對シ許總長ハ第一、交通銀行ノ口頭
報告ニ依レハ株主會議ハ已ニ之ヲ開ケリ、第二、第三ノ兩
問題ニ對シテハ國庫及國家財政ト何等關係ナク且ツ該借款
ハ毫モ政治借款ノ性質ヲ有セズ、交通銀行ノ國庫代理權取
消ニ閲シテハ衆議院ニ於テ答弁シタルカ如シ云々ト答フ、
又某議員ハ該借款ハ去ル二十日既ニ正式調印ヲ為セシニ拘
ラズ尚國庫代理權ヲ取り消サズ且ツ未タ銀行ヨリ正式報告
ヲ受ケザルハ如何ト窮追シ其ノ他多数議員等交々立テ許總
長ノ答弁ヲ反駁シ許ハ答弁ニ窮セシガ二時間余ノ長キニ亘
リ議員モ亦漸ク倦怠ノ状アリタルヲ以テ遂ニ散会セリ

関東、青島、上海、中支、濟

坂極秘電一三

前電十二ノ如ク大總統ハ今回ノ交通銀行借款ニ對シ少カラ
サル不安ノ念ヲ懷キ一昨二十五日特ニ段總理ヲ呼ヒ交通銀
行ハ官民合資ニシテ而モ國庫ヲ代表スルモノニ政府カ何等
閑知スルコトナク日本トノ借款ヲ行フハ不都合ナラズヤト
詰問セリ、段總理ハ答ヘテ該借款ノ経過ハ最初ヨリ予是ヲ
知レリ目下政府カ交通銀行ニ負フ所ノ債務多大ナルモ之ヲ
補填スペキ財力ナシ此儘放任セハ該銀行ハ全ク運転不能ト
ナリ官民等シク多大ノ損害ヲ蒙ルニ至ル然ルニ今回借款ニ
応シタル日本銀行團ノ態度頗ル公平ニシテ誠意多シ此契約

条件ノ如キモ割引ナク手數料無ク利率亦高カラス其他将来
ニ何等ノ煩ヲ遺スモノナキモノト認タルニヨリ予ハ政府ト

シテ何等干涉ノ必要ナク寧ロ之ニ贊同シテ銀行ノ運転ヲ恢
復シ官民共ニ幸ヲ受クルヲ可ナリト信ス将来若シ之ニヨリ

テ禍ヲ受クル事アラハ予自ラ責任ヲ負フヘシ大總統宜シク
安心アレ云々ト明言セル由、右ハ一昨夜總統ヨリ小官ニ語
リ又昨日段總理ヨリモ親シク小官ニ語ル処ナリ恐ラク事実

ナルヘシ、而モ之カ為ニヤ昨夕大總統等ハ特ニ秘書ヲシテ
ニ忠言ヲ伝ヘタルハ決シテ大總統カ貴國銀行團ノ借款ニ応

シタル事柄ヲ云々スルニアラズシテ由來交通銀行内容ノ頗
ル複雜ナルヲ懸念シタルカ為メナルヲ以テ其点ハ誤解ナキ
ヲ望ム云々トテ殊更弁解ノ伝言ヲ齎セリ大總統段總理間ノ
消息亦斯ノ如シ尚段總理ハ昨二十六日借款ニ閲スル書類全
部ヲ大總統府ニ送リタリトテ曰ク大總統ハ貴官ノ知ル如ク
溫和ノ人故一度了解セバ何事モナシ唯左右ノモノハ尚多少
文句ヲ云フベキモ敢テ意トスルニ足ラス云々

二八三 一月二十九日

志立興業銀行總裁ヨリ

交通銀行ニ日本人顧問傭聘ニ閲スル往復文書

訳文第三号

附屬書 一月八日附右顧問傭聘ニ閲スル往復文書訳文
ノ間ニ交換セシ文書訳文式通外電通、写同封御送付申上候
ニ付御査収被成下度此段得貴意候

敬具

大正六年一月廿九日

株式日本興業銀行

三 対中国借款関係雑件（一）二八四

小幡政務局長殿

註 交通銀行本契約及日本人顧問傭聘ニ閔スル一月八日附往復書面ノ確認書ハ前掲ニ付省略ス

（附属書）

日本人顧問傭聘ニ閔スル往復文書訳文

拝啓陳者交通銀行成立以来茲ニ八年今ヤ世界ノ趨勢ニ応シ改良ノ計画ヲ為ス必要生シタルニ付貴國ヨリ顧問一人ヲ傭聘致度ト存候該顧問ハ意見ヲ陳述シ且ツ交通銀行總理副總理ニ於テ諮詢事項アレバ詳細應答スルコトシ期限ハ三年俸給ハ年日本金貨壹万円ト定メ度就テハ貴代表ヨリ右推薦方三銀行ニ御転達相願度此段得貴意候 敬具

六年一月八日

交通銀行代表者 曹 汝 霖(印)

日本興業銀行 代表者 西原先生

台灣銀行

朝鮮銀行

台灣銀行

キ旨興業銀行ヨリ申出アリ右承認云々トハ貴電第四号ノ四

キ旨興業銀行ヨリ申出アリ右承認云々トハ貴電第四号ノ四

キ旨興業銀行ヨリ申出アリ右承認云々トハ貴電第四号ノ四

シ期限ハ三年俸給ハ年日本金貨壹万円ト定メラレタキ旨御申越ノ趣敬承右ハ本代表等ヨリ三銀行ニ転達シ適任者ヲ推薦セシムルコトニ可致候此段回答得貴意候 敬具

六年一月八日

日本興業銀行 朝鮮銀行 代表者 西原久太郎(印) 台灣銀行

註 右往復文書ノ原文ニ付テハ前掲二七一文書參看

二八四 一月二十九日 小幡政務局長宛

交通銀行借款契約ヲ中国政府ニ於テ承認ノ旨 通知アリ次第通報方依頼ノ件

秘文第四号

拝啓

今回ノ交通銀行借款契約ハ支那政府ニ於テ之ガ承認ヲ与ヘタル後ニ於テ始メテ実行セラルヘキコトハ双方当事者間ニ談合シタル處ニ有之因テ支那政府ヨリ公文ヲ以テ本借款契約ヲ承認シタル旨ヲ林公使ニ対シ声明スルコトヲ必要条件

トスルコトヲ當方ヨリ申出デ先方ハ必ス其手続ヲ履ム旨ヲ明言シタル由ニテ是ハ林公使モ御承知ノ趣ニ有之候故ニ担保物件ヲ受取リタル日ヨリ二週間以内ニ元金交付ノ約束ナルモ若シ夫迄ニ支那政府ヨリ林公使ニ承認ノ通知無之場合ニハ元金交付ノ義務無之コトニ有之候

右ノ次第ニ付支那政府ノ承認通知有之候旨林公使ヨリ來電有之候節ハ乍御手數早速御通知被下度右御願迄得貴意候

アリ度尚何分ノ模様折返シ回電アリ度シ

二八六 二月一日 在中國林公使宛(電報)

中国政府ノ交通銀行借款契約承認通知及借款
金額授受ノ件

第一一八号

貴電第九〇号ニ閔シ交通銀行借款契約備案ノ件二月一日外

交總長ヨリ公文ニテ本使ニ通知シ来レリ尚右備案ニ閔スル

國務院ノ指令モ政府公報ニテ発表セラレタリ將又借款金額

ハ陸宗輿着京ノ上交通銀行代表者トシテ受領スル筈ナリト

云フ

(奉天總領事館經由二日午前一〇時)

二八七 二月一日 勝田大蔵省特別銀行課長ヨリ

為シタルガ故ニ右承認ノ通知無ケレハ元金交付ノ日限（二

月二日）到来ニ係ラズ之レガ交付ノ義務無キコトト相成ベ

シ回答方ノ件

客月廿五日附ヲ以テ交通銀行借款ニ閔与セル三銀行代表者

二五三

三 対中国借款關係雑件（一）二八八 二八九

二五四

ヨリ別紙ノ通リ内申ノ次第モ有之候処右ハ事情已ムヲ得サ
ルモノト被認候ニ付テハ願意御聽置相成左案御通知相成可
然歟仰高裁

案

客月廿五日附ヲ以テ御内申ノ件御聽置相成候条御承知相成

度此段及御通知候也

御認諾置被下度此段内申仕候也

大正六年一月二十五日

株式会社日本興業銀行

総裁 志立鉄次郎(印)

頭取 桜井鉄太郎(印)

朝鮮銀行

年 月 日

外務次官

大蔵次官

三銀行代表者宛

親展

註 右高裁案ハ閻場特別銀行課長起案ノ上森銀行局長神野理財

局長ヲ經由 市來大藏次官勝田大藏大臣ノ同意ヲ得タル後

幣原外務次官及本野外務大臣ノ承認ヲ得タリ

(別紙)

今般三銀行合同シテ支那国交通銀行ニ對シ同行業務整理ノ
為メ邦貨金五百萬円ヲ貸出ス事ニ相成候処後日万々一元利
金ノ辨済予期ノ通難相運場合ニ於テ之カ債権ノ取立ニ関シ
テハ最善ノ方法ヲ尽スヘク存居候得共自然私力ノ及ヒ難キ
場合可有之ト存候ニ付其ノ際ハ特別ノ御援助ヲ仰キ度候間

支普二三

交通銀行業務整理ノ為メ日本金五百萬円借款ノ件昨三十一
日附國務院令ヲ以テ認可指令ヲ発セリ

二八八 二月一日

斎藤在中国日本公使館付陸軍武官ヨリ
在中国芳沢臨時代理公使ヨリ
本野外務大臣宛

交通銀行借款認可ノ國務院令指令ノ件

支普二三

交通銀行業務整理ノ為メ日本金五百萬円借款ノ件昨三十一
日附國務院令ヲ以テ認可指令ヲ発セリ

二八九 二月一日

斎藤在中国日本公使館付陸軍武官ヨリ
在中国芳沢臨時代理公使ヨリ
本野外務大臣宛

交通銀行借款契約備案方同銀行ヨリ願出デタ

ルニ付中国政府ヨリ照会越ノ件

附屬書一 二月一日付伍外交總長ヨリ在中国林公使宛照

会

二 二月一日付在中国芳沢臨時代理公使ヨリ伍外
交總長宛復翰写

(二月八日接受)

機密第三九号

大正六年二月二日

在支那臨時代理公使 芳沢謙吉(印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

交通銀行借款備案方ニ關シ外交部トノ往復文

写送付ノ件

交通銀行借款備案方ニ關シ外交部ヨリ照会ニ接シ

タル趣ハ不取敢往電第一一八号ヲ以テ報告及置候処尚為念
右照会写(訳文添付)及之ニ對スル當方回答写別紙甲乙号
及送付候間御查閱相成度此段申進候也

(附屬書一)

甲号写

照会

外交總長伍為照会事准國務院函開此次交通銀行与日本國株
式会社日本興業銀行為代表之銀行團訂借日金伍百万円整理

三 対中国借款關係雑件(一)二八九

以書翰致啓上候陳者今回交通銀行ハ業務整理ノ為日本國株
式会社日本興業銀行ヲ代表トスル銀行團ト日本金貨五百万
円ノ借款契約ヲ訂結シタルニヨリ夫々備案方同銀行ヨリ願
出タルニ付此儀日本公使へ照会有之度旨國務院ヨリ右契
約写相添申越有之候間右様御承知相成度此段照会得貴意候
敬具

(附屬書二)

乙号写

芳沢臨時代理公使復翰

第二〇号

以書翰致啓上候陳者今回交通銀行ニ於テ業務整理ノ為日本
國株式会社日本興業銀行ヲ代表トスル銀行團ト日本金貨五

二五五

三 対中国借款関係雑件（一）二九〇

二五六

百万円ノ借款契約ヲ訂結シタルニ因リ備案方國務院ノ通牒ニ基キ貴暦民國六年二月一日附ヲ以テ林公使宛御照会ノ趣致敬承候此段照復得貴意候 敬具

大正六年二月二日

伍外交総長宛

芳沢臨時代理公使

二九〇 二月五日 在中國芳沢臨時代理公使ヨリ
本野外務大臣宛

交通銀行借款契約承認方ニ閲スル國務院宛同

銀行請願書写送付ノ件

附屬書 一月二十二日附右請願書

公第四二号 (一月十二日接受)

大正六年二月五日

在支那

臨時代理公使 芳 沢 謙 吉(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

交通銀行借款契約備案方ニ閲スル同銀行請願

書写及訳文送付ノ件

交通銀行五百万円借款契約備案方ニ閲シ同銀行ヨリ國務院

ヘ提出シタル請願書二月五日発行ノ政府公報ニ掲載有之候ニ付右写及訳文別紙ノ通り御参考迄及送付候間御查閱相成度此段申進候也

(附屬書)

交通銀行總管理處呈國務院為訂借日金五百萬元整理業務
鈔錄借款合同呈請備案文(附合同)

為呈請備案事竊本行數年以來竭力圖維營業幸漸發達内外均無虧欠前因政府以財政困難迭飭墊付軍政經費本行不揣棉薄多方設法以冀仰副國家維持全局之至意自民國元年迄今積欠至鉅但以庫款往來既無間斷私家存款亦非少數是以墊款雖多尚暫為支持自奉停兌以後營業減色現金欠周轉維艱而各省分行及匯兌所數十處有停兌者有因地方情形不能停兌者辦法既極不一處理乃益為難本行迭次呈請發還欠款蓋实有不得已之苦衷乃距今數月迄無辦法且使國庫款項照旧往来則出納之間亦可稍資周轉詎時經半載獨抱向隅加以官私存續多被提取收入之欠乏如彼支付之困難又如此雙方窘迫應付俱窮本行為信用計為營業前途計為股東血本計不得不自行設法以資維持現与日本興業銀行等協議確定暫借日本金五百万元約期三年年利七釐五毫十足交款并無用費以行存國家有價証券為担保

品純照商業借款性質辦理絲毫無損利權此項合同經提交本行董事會通過於一月二十日由本行總協理與日本興業銀行總裁志立鉄次郎代理理事二宮基成正式簽字理合將中日文借款合同各鈔錄一分呈請鈞院鑒察備案並懇行知財政部審照備案及外交部援例照會日本駐京公使查照至綴公誼此呈

附呈中日文借款合同各一分

交通銀行總管處謹呈

中華民國六年一月二十二日

(右和訳文)

交通銀行五百万円借款契約備案方ニ閲シ國務院宛同銀行請願書

前略、本行數年以來力ヲ竭クシテ經營シ營業漸次發達シ内外共ニ欠損ナカリシモ前キニ政府財政困難ノ為屢々軍政費ノ立替ヲ命セラレタルニ因リ本行微力ヲ計ラス百方、法ヲ設ケテ國家ガ全局ヲ維持セラル、至意ニ副ハシコトヲ冀ヒ民國元年ヨリ今日ニ至ル欠陥ヲ生スルコト極メテ多シ但シ國庫トノ取引ヲ繼續セルト私人ノ預金尠カラサリシ為立替金多シト雖モ尚ホ暫ク支持スルコトヲ得タル次第ナルガ兌換停止以後營業衰退、現金欠乏、運転甚々困難トナリ各省

卷之三

註 隸屬契約曰漢文前揭二付省略不

交通銀行備忘錄三文公表

日本三銀行

公表セラル

支那通商銀行

ルヨリ近來議会及其他ノ方面ニテ今回ノ五百万円借款ニ對シ多少反対攻撃スルモノアルニ依リ之ヲ弁明擁護スル為銀行側ヨリ掲載セシメタルモノト被認候ニ付御参考ノ為別紙ノ通リ訳出及送付候間御査閱相成度候也

二九一 二月六日 在中国芳沢臨時代理公使ヨリ
本野外務大臣宛

ノ件
附属書 右二月六日発行「公言報」掲載ノ「交通銀行債

卷之二

公第四三号

大正六年二月六日

在支那

臨時代理公使 芳沢謙吉(印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

途ノ為ニハ自カラ借款ヲ起シ運転ノ方法ヲ講スル外ナシ
幸ニ今回ノ借款契約ハ純然タル商業上ノ貸借関係ニシテ
其他ニ何等ノ意味ナシ即第一割引モナケレバ手数料モナ
キコト第二期限前何時ニテモ償還解約スルヲ得ルコト第
三担保カ營業上収入シタル有価証券ニシテ他ノ条件ナキ
コト等皆本契約ノ何等利權ヲ損セザリシコトヲ表明スル
ニ足ルヘシ

問、外間伝フル所ノ顧問ノ件ハ如何

答 本行ハ改良ノ目的ヲ以テ顧問一人傭職方書面ヲ以テ興業銀行ニ依頼シタルモ右ハ借款トハ別問題ニシテ何等ノ關係ナシ本行ガ興業銀行ニ送リタル書面ノ大要ハ「本行成立以米數載今ヤ世界ノ趨勢ニ応シ改良ノ計画ヲ為ス貴國顧問一人ヲ聘請シタシ右顧問ハ前陳ノ趣旨ニ合シ意見ヲ陳述シ又云行恣易理ノ諮詢事項アノ易合ハ羊田答

覆スベシ期限三年年給日本金壱万円ノ条件ニテ可然候補者推薦有之度云々トアリ又興業銀行代表ノ之ニ対スル回答ハ大要（先ツ原文ヲ照錄シ）御申越ノ趣敬承早速適当ナル人物ヲ推薦可致云々トアリ顧問ノ職権ハ右往復書面ニテ規定セラレ居ル通リニテ外間ニ伝ヘラル、借款ノ

三、对中国借款關係雜件（一）二九二

三 対中国借款関係雑件（一）二九三

等ノ組織ヲ改善シ殊ニ簿記ノ件ハ尤モ革新ヲ図リ以テ新時代ノ需用ニ応セントス即旧来社会ノ情形ニ適合スルノ趣旨ニ外ナラス云々

最後ニ該行当局ハ丁寧ニ記者ニ向テ外間ニ於テハ外人ト合辦云々ノ説アル由ナルガ右ハ本行ノ信用ヲ破壊シ金融ヲ擾乱セントスルモノノ作為セシ謠言ニ過ぎズ単ニ本行ニ於テ此ノ如キコト之ナキノミナラス債権者ニ於テモ未タ曾テ之ニ言及セシコトナシ

二九三 三月二十五日 在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛

交通銀行ノ追加借款問題ニ關シ意見稟申及請
訓ノ件

機密第一〇四号

大正六年三月二十五日

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助
外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿
交通銀行追加借款ニ關スル件

交通銀行ニ対シ我方ヨリ更ニ二千万円位貸出ノ内議アル趣

（三月三十一日接受）

候
仍テ本使ニ於テ篤ト本借款ノ利害得失ヲ攻撃シタルニ左記諸点ニ於テ我国ニ取り煩ル不得策ナリトノ考ヲ懷クニ至リ候

第一 先般交通銀行五百万円借款商議ノ際当初ハ興業銀行ノミヲ表面ニ出スコトトシ次テ朝鮮台灣両銀行ヲモ加ヘ即チ三銀行ノ名義ヲ表ハシテ調印ヲ了シ第十三条ノ追加借款ニ対スル優先権ヲ取メタル成行アルニ拘ラス今回興業台灣両銀行ヲ除外シ独リ朝鮮銀行ヲシテ本借款ニ応セシムルトキハ支那側ヲシテ我銀行團ノ内幕ニ就キ徒ラニ

誤解ヲ抱カシメ将来何レノ銀行ト關係ヲ結フコト得策ナルヘキヤ等ニ閑シ不安ノ念ヲ与フルニ至ルヘシ

第二 交通銀行ノ内情ハ錯雜紛糾ヲ極メ其信用程度如何ニ付何等見据付カサル為五百万円借款供給ノ際徐ニ其内情ヲ調査スル目的ヲ以テ我方ヨリ顧問ヲ入ルルコトトナシタル次第ナル處銀行内部ノ真相依然判明セザル今日ニ於テ更ニ二千万円ノ大金ヲ貸付クルコトハ将来回収上其他ニ於テ危險渺ナカラザルノミナラズ交通銀行ト我銀行団トノ間ニ堅実永遠ナル純実業的關係ヲ結バムトノ当初ノ理想ニモ添ハザルヤニ認メラレ現ニ曹汝霖ノ如キモ本使ニ対シ本借款ハ寧ロ新設セラルベキ日支銀行ヲ経由スル方可ナルヘシトノ口吻ヲ洩シタル位ナリ

第三 先般五百万円借款成立ノ際著敷内外人ノ注意ヲ喚起

セル事実ニ徵シ将来前記追加借款成立ノ曉必スヤ一層世

上ノ注意スル所トナルヘク殊ニ四国大借款問題懸案トナ

リ居ル今日斯ル借款現出セムカ国民党側ヨリ必然反対起

リ聯合側加入問題ト相連シテ段内閣ヲ苦境ニ陥ルルニ

至ルヘキハ殆ント予想ニ難カラス而ノミナラス愈々本借

款ヲ政費ニ流用スルコトトモナラバ其消息忽知レ渡リ四

二六〇

ハ本使先般帰朝之砌大藏大臣ヨリ簡単ニ内話アリタル処西原龜三当地滯在中本使ニ内話セル所ニ依レハ該借款談ハ支那側ノ申出ヲ俟タズ已ニ西原ヨリ加入問題ニ関スル誘引方法トシテ進ンテロヲ切リタルモノノ如クニ有之且右ハ朝鮮銀行ノミノ名義トナシ尚借款金額ハ交通銀行ヨリ政府ヘノ貸上資金トシテ東京ニ保管シ置ク方針ナリトノ趣ナルカ支那政府ハ如何ナル方法ヲ以テ如何ナル目的ニ之ヲ使用スル所存ナルヤ本使ニ於テ何等承知スル所ナキモ要スルニ政治的色彩ヲ有スルモノナルコト殆ト疑ヲ容レザル次第ニ有之

候
原龜三当地滯在中本使ニ内話セル所ニ依レハ該借款談ハ支那銀行ノミノ名義トナシ尚借款金額ハ交通銀行ヨリ政府ヘノ貸上資金トシテ東京ニ保管シ置ク方針ナリトノ趣ナルカ支那政府ハ如何ナル方法ヲ以テ如何ナル目的ニ之ヲ使用スル所存ナルヤ本使ニ於テ何等承知スル所ナキモ要スルニ政治的色彩ヲ有スルモノナルコト殆ト疑ヲ容レザル次第ニ有之

候
仍テ本使ニ於テ篤ト本借款ノ利害得失ヲ攻撃シタルニ左記諸点ニ於テ我国ニ取り煩ル不得策ナリトノ考ヲ懷クニ至リ候

國團側ヨリ物議ヲ招クニ至ルヘク右ハ仮ニ如何様ニモ表面的弁解ヲナシ得ル途アリトスルモ事実ハ蔽ハントスルモ蔽フニ由ナカルヘク結局我國ノ態度ニ対シ無益ノ誤解ヲ惹起シ累ヲ國交ノ大局ニ及ボスノ虞ナシトセズ
以上ハ本借款ノ性質ニ付本使ノ聞込ミタル所ヲ仮ニ事実ト看做シテノ觀察ニ有之之帝国政府當局ニ於テ固ヨリ万々御如意ヲ受ケタリト称シ支那側ニヨロヲ切リタル以上今後先方ヨリ契約締結ヲ迫ルカ如キコトトモナラバ徳義上之ニ応ゼザル可ラザル破目ニアル次第ト認メラルニ付前陳ノ事情篤ト御熟考ノ上本使ヲシテ何等誤解ヲ抱カシメザル為事ノ真相及本借款ニ対スル帝國政府ノ御方針詳細至急御垂示相願度此段及具申候也

二九四 四月四日 本野外務大臣ヨリ

勝田大藏大臣宛

交通銀行ノ追加借款問題ニ關シ意見問合ノ件

政機密送第七二号

大正六年四月四日

三 対中国借款関係雑件（一）二九四

本野大臣

二六一

三 対中国借款関係雑件 (一) 二九五 二九六

二六二

勝田大蔵大臣

支那交通銀行追加借款ニ閲スル件

交通銀行ノ国庫代理権ノ廃止及紙幣発行権取
消ノ決議ハ実行セラレザル様処置アリタキ件

本件ニ閲シ別紙^(註)写之通在支公使ニ回訓ノ都合モ有之候ニ付右
付候間御查閱相成度尚同公使ニ回訓ノ都合モ有之候ニ付右
ニ対スル貴省ノ御意見何分ノ義至急御回示相成度此段申進
候也

註 別紙林公使來信機密第一〇四号ハ前掲ニ付省略
支那林公使ヨリノ來電第四七四号ニ依レハ支那衆議院
在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

二九五 四月四日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

交通銀行ノ国庫代理権廃止決議案衆議院通過

ノ件

第四七四号

四月三日ノ衆議院ハ交通銀行ノ国庫代理権廃止ノ決議案ヲ
通過セリ此日又同銀行紙幣發行権取消ヲ提議スルモノアリ
タルモ既ニ發行セルモノ多クハ人民ノ手ニアレバ取消ハ不
可能ナルモ新ニ發行ノ義ハ之ヲ許サブルコトニ修正シテ通
過セリ(奉天經由四月五日前一、四八)

二九六 四月七日

勝田大蔵大臣ヨリ
本野外務大臣宛

大正六年四月七日

大蔵大臣 勝田主計(印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

二九七 四月七日

勝田大蔵大臣ヨリ
本野外務大臣宛

交通銀行ノ追加借款問題ニ閲シ大蔵省ノ意向
回答ノ件

秘乙第六一一号

(四月七日接受)

第二 交通銀行ノ内情判明セサル為二千万円借款ノ危険云
々ニ閲シテハ充分ナル支那政府国庫債券ヲ担保トスルコ
トノ内談有之候ヘバ債権ヲ確保スル上ニ付公使意見ノ如
ク危険ノモノトハ存不申曹氏意見ノ如ク新ニ設立セラル
ヘキ日支為替銀行ヲ經由シテ貸与スルコトモ一案ト存セ
ラレ候ヘ共は未設ノモノニ有之且ツ本借款ハ先方ヨリ
交通銀行統借トシテ内談有之候モノ故些ノ支障ナシト思
考致居候

第三 前記借款成立ノ曉ニ於テ支那政府カ之ヲ政費ニ流用
スルヤ否ヤハ事実ノ問題ニシテ交通銀行ノ整理ハ当初ヨ
リ約二千万円内外ヲ要スルトノコトニ有之前貸五百万円
ハ其一部ニ過ぎズ而シテ其統借トシテ申込ノ内相談ヲ受
ケタルヲ以テ当初交渉ノ精神ニ依リ之ヲ内諾スルコトト
致シタル次第ニテ今日ヨリ支那政府カ右借款ヲ政費ニ流
用スルヤ否ヤヲ予想シテ深ク憂慮スルニモ及バザル儀ト
被存候

第一 二千万円ノ借款ニ閲シ朝鮮銀行ヲシテ之ニ当ラシム
ルハ本借款ハ其手続ニ閲シ極メテ円満敏活ノ措置ヲナス
ノ必要有之前借款五百万円ニ閲スル手続上ニ鑑ミ先方モ
可成之ヲ一銀行ト致度希望モ有之趣ニ聞込ミ居此等ノ事
情ヲ三銀行ニ打明ケ三銀行ノ同意ヲ得テ朝鮮銀行ヲ表面
ニ出スコトニ致シタルモノニシテ御照会ノ如キコトハ毫
モ有之間敷ト存候

三 対中国借款関係雑件 (一) 二九七

官房秘乙第六一〇号
本月五日林公使ヨリノ來電第四七四号ニ依レハ支那衆議院
ハ交通銀行ノ国庫代理権ノ廃止決議案ヲ通過シ又将来紙幣
ノ發行ヲ許サブル旨ヲ決議セル趣ニ有之候處我國ニ於ケル
興業銀行其他ノ銀行團ガ交通銀行ノ整理ヲ援助スルカ為借
款契約ヲ締結シタルハ同銀行ガ国庫代理権並ニ紙幣發行権
ヲ有スルコトガ少クモ一ノ自然的条件トナリ居レルモノニ
有之隨テ若シ之ヲ廃止セラル、ニ於テハ此等銀行團ノ有ス
ル権利ハ極メテ不確実ノモノトナリ非常ニ不安ヲ來ス次第
ニ付右等ノ決議ハ必ス實行セラレザル様相當手續相成候様
致度又日支銀行ニ閲シテモ衆議院ニ於テ種々ノ議論アル趣
ニ有之候處日支資本ノ共同ニ依リ支那ノ産業開發ニ資スル
ハ日支親善ノ手段トシテモ最モ必要ノ次第ニシテ此趣旨ニ
依リ両國資本家ニ於テ同銀行設立ノ計画ヲ立テタルモノニ
付支那側ニ於テモ充分ニ此意ヲ諒シ衆議院ニ於テハ勿論其
他ノ方面ニ於テモ何等ノ故障ナク其成立ヲ見ルニ至ル様御
配慮相成度此段申進候也

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

大蔵大臣 勝田主計

二六三

二九八 四月十六日 本野外務大臣ヨリ
在中國林公使宛(電報)

交通銀行ノ國庫代理権廢止擇消方訓令ノ件

第三二四号

貴電第四七四号ニ閔シ曩ニ交通銀行整理援助ノ為興業銀行
其ノ他ノ本邦銀行團ガ五百万円ノ借款契約ヲ締結シタルハ
同銀行カ國庫代理権並ニ紙幣發行権ヲ有スルコトガ少クモ
一ノ前提トナリ居ル次第ニ付若シ右等特權カ廢止セラルル
ニ於テハ本邦銀行團ノ有スル権利ハ極メテ不確実ノモノト
ナリ非常ノ不安ヲ來スヘン本借款ノ成立ニ付テハ曹汝霖陸
宗興等モ關係シタル義ニ付貴官ハ同人等ニ對シテモ前記ノ
次第ヲ談話セラレ本件決議案カ參議院ヲ通過スルニ先立チ
揉消サルルコトトナル様可然御手配アリ度シ

二九九 四月十八日

本野外務大臣宛(電報)

交通銀行ノ國庫代理権廢止ノ擇消方ニ閔シ曹

汝霖船津書記官ニ内話ノ件

第五一六号

貴電第三二四号ニ閔シ船津ヲシテ曹汝霖ニ委細申聞ケシメ

三〇〇 五月五日

本野外務大臣宛(電報)

曹汝霖ハ唐繼堯ノ活動反政府派ノ動向等ニ閔

シ陳述シタル後二千万円借款仮契約復活方申

第五七〇号

出デタルニ付請訓ノ件

往電第五六九号時局ノ切迫ヲ述ヘタル後曹ハ更ニ語ヲ次ギ
唐繼堯ノ活動ニツキテハ中央政府ニ於テモ注視ヲ怠ラザル
次第ナルカ万一唐ニシテ事ヲ起スカ如キ場合ニハ政府ニ於
テモ直ニ之ニ対応スル為メ兵ヲ動カスノ必要アリ其節ハ早
速鉄道ノ必要ヲ感スル次第ナルガ其際ハ仏國ニシテ聯合側
ノ一員タル關係上好意ヲ表シテ雲南鉄道ニヨル送兵等ニ異
議ヲ挾マザルハ勿論前以テ公使ヨリ在雲南領事ニ訓令ノ上
仏國ハ支那ノ対独宣戰ニ賛同スル旨ヲ督軍ニ通告セシムル
コトト致シ度キ處本使ヲ煩ハシテ仏國公使ニ右ノ次第申入
ルルコト出来間敷ヤト述ベタルニ付本使ハ此義ハ貴下自ラ
取計ハルルコト然ルベシト答ヘタルニ曹ハ更ニ進ンデ反対
派ハ政府ノ圧服ヲ恐レテ上海各國居留地ニ拵リ盛ニ政府反
側ノ氣勢ヲ高メントモ計ラザル處右ノ如キ場合ニハ聯合
側ノ处分方ニ就テハ相当好意ヲ表シ吳ル方然ルベク將
又時局コノ儘順調ニ進行シ幸ニ大總統ノ退位ヲ見ルガ如キ
コトナシトスルモ尚未紛擾ニ対スル準備其他ノ關係上支那
政府トシテ資金ヲ用意シ予見シ難キ事變等ニ備ヘ置ク方得
策ト認メラルニ付テハ先般西原トノ間ニ締結シタル二千

請フ

三〇一 五月七日

本野外務大臣宛(電報)

政府トシテ資金ヲ用意シ予見シ難キ事變等ニ備ヘ置ク方得
策ト認メラルニ付テハ先般西原トノ間ニ締結シタル二千

三 対中国借款関係雑件（一）三〇一

タル処曹ハ国民党側ニテハ政府ヲシテ交通銀行ノ特權ヲ取
消サシムル為過般私立銀行紙幣發行制限案可決シタルモ右
法案中特別ノ規定アルモノハ此ノ限りニ在ラズトノ除外例
ヲ設ケアル為交通銀行ノ紙幣發行権ニハ何等影響セサルコ
トトナリタルモ國庫代理権取消ハ既ニ衆議院ヲ通過シタル
ヲ以テ自分等モ過日來同案揉消ノ為極力運動シ置キタルニ
付多分大丈夫ナラント考フルモ民黨ヲ以テ多数ヲ占ムル衆
議院ノコトナレバ未タ全然安心モ出來ズ併シ是ハ極秘ナル
ガ万一不幸ニシテ右國庫代理権取消案ガ上院ヲ通過シタル
場合ハ政府ニテハ之ヲ一ノ提議案ト看做シ其再議ヲ要求ス
ルカ或ハ全然之ヲ握潰スカ二者其ノ一ヲ択フコトニ段總理
ト打合済ナリ但シ此ノ点ハ當分絶対秘密ニ附セラレタシト
答ヘタル趣ニ付右様御含置ヲ乞フ

三 対中国借款関係雑件（一）三〇一

機密第一七六号

（五月十四日接受）

大正六年五月七日

在支那

特命全権公使男爵 林 権 助（印）

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

交通銀行顧問ニ閲スル件

交通銀行五百万円借款契約成立ノ際協定セラレタル同銀行

ニ聘用セラルベキ顧問人選方ニ閲シテハ本使帰朝中志立興

業銀行總裁トモ及談合置候次第有之候處右人選方ニ付テハ其後如何進捗致居候哉実ハ適任者ノ選択方ニ就テハ本使ニ於テモ彼是考慮ヲ加ヘ居候次第ニ有之候處偶々月下滯燕中ノ元大使館一等書記官岡部三郎ヨリ右顧問希望ノ旨申出デ本使ニ於テモ至極恰好ノ候補者ト相認メ候次第ニテ同氏ノ為人及技倅ニ就テハ疾ニ御了悉ノ通りニ有之唯銀行事業ニハ経験ヲ有セザルモ多少修練ヲ経ハ事務執行上何等遺憾可無之ト思料セラルルノミナラズ同人ニ於テモ小田切正金取締役等ニ就キ顧問事務執行ノ能否等ニ付相当研究ヲ遂ケタル上大体ノ見込ヲ附ケタル次第ニ有之候ニ就テハ閣下ニ於テ御同感ニモ有之且未タ人選決定ノ運ニ不相成居候儀ニモ

二六六

有之候ハ、可相成ハ同人ノ希望相叶候様大藏大臣及興業銀行總裁へ推挙方可然御配慮相成度此段及具進候也

三〇二 五月八日

本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛（電報）

二千万円借款ハ反対党圧伏ノ用ニ供スル為ナ

申入置キタル件

第三六七号

五月七日在日本支那公使來訪交通銀行二千万円借款ノ件ニ閲シ本大臣ノ意図ヲ承知シタキ旨申出デタルニ付本大臣ハ同公使ニ対シ実ハ本件ニ閲シ在支公使ヨリモ来電ノ次第アリタルガ右來電ニ依レバ該金額ハ政府反対党圧伏ノ用ニ供スルヤノ疑アル処果シテ然ラハ帝国政府ニ於テハ主義トシリカニ同意ヲ与フルコト能ハザルニ付此旨林公使ニ訓令スル積ナリ寺内總理大臣ハ勿論本大臣モ亦段總理ニ対シテハ真ニ同情ヲ有シ永ク其地位ヲ保チ国事ニ尽瘁セラルルコトヲ切望スルモノニシテ同總理ニ於テ慎重事ニ臨ミ万遗漏ナキ様措置セラレムコトヲ望ム次第ナルガ聞ク所ニ依レバ政局ノ発展如何ニヨリテハ隨分過劇ノ手段ヲ執ラレムトスル

モノノ如ク見受ケラルル処之力為万一騒乱ヲ惹起スルコト

アラハ支那之為不幸之ヨリ大ナルハナシ支那ノ參戰ハ世界

ノ大局ヨリ打算シ支那ノタメ又日本ノ為極メテ有利ノコトナルニ付吾人ノ大ニ賛成スル所ナルモ之カ為支那ニ騒乱ヲ

醸スカ如キコトアリテハ甚遺憾トセサルヲ得ズ段總理ハ事ヲ処スルニ當リ此ノ辺ノ用意十分ナリトハ信スルモ為念貴公使ヨリ同總理へ伝達セラレ度シト述焉キタリ御含迄

行理事北京出張ニ付助力方依頼ノ件

附屬書 二千万円借款契約案

交通銀行ヘ二千万円統借ノ件ニ閲シテハ予テヨリ縷々御意見御開申之次第モ有之其節一応断り方及御委嘱候義モ有之候ヘ共何分ニモ同銀行整理ニ要スル資金融通ノ内約有之且ハ今回更メテ右ノ目的ニテ整理資金トシテ借入方内願シ来る以上從来ノ成行ヲ無視シ此際無下ニ之ヲ拒絶スルヲ得

サル内情モ有之旁今回大蔵省ニ於テ同行ノ希望ニ応ヅルコトニ決定シ近日朝鮮銀行理事木村雄次別紙契約案ヲ携ヘ貴

地ヘ出張致スベキ筈ニ付貴官ニ於テ右ノ趣旨篤ト御諒察ノ上本借款ノ成立ニ御助力相成様致度尙ホ朝鮮銀行ガ单独借款ニ応スル義ニ付支那側ノ誤解ヲ惹起スル虞アル旨裏ニ段々御申越ノ次第有之候ニ付其後大蔵省トモ協議致候處之ニ

ハ種々入組タル事情アリ且ハ支那側ノ意図ヲモ斟酌シ諸事円満迅速ニ取運フコトヲ期シ關係兩銀行トモ十分意思ヲ疏通シ今回朝鮮銀行ヲ表面ニ立テ木村理事ヲ貴地ニ出張ゼンメ交渉ノ衝ニ当ラシムルコト致タル次第ニ付此点モ特ニ可然御諒察ヲ得度次第ニ有之候

敬具

三〇三 五月二十一日

本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛

交通銀行二千万円追加借款ニ閲シ木村朝鮮銀

三 対中国借款関係雑件（一）三〇三 三〇四

（欄外註記）

二六七

三 対中国借款関係雑件（一） 三〇四

二六八

「大臣ノ命ニ依リ半公信ノ体裁トシテ發送セリ」

（附屬書）

中華民国交通銀行ハ（以下甲ト称ス）其業務資金ヲ充実ス

ル為メ大日本帝国朝鮮銀行（以下乙ト称ス）ヨリ日本金貨

弐千万円也ノ借款ヲ為スニ付兩者ノ間ニ左ノ条項ヲ契約ス

第一条 本借款金額ハ日本金貨弐千万円トス

第二条 本借款期限ハ本契約調印ノ日ヨリ起算シ三ヶ年即

チ大日本帝国大正 年月 日迄中華民国 年

月 日迄トス

第三条 本借款利子ハ年七分五厘即チ日本金貨毫百円ニ付

日本金貨七円五拾錢ノ割合ヲ以テ仕払フモノトス

第四条 本借款利子第一回ハ本借款ノ交附当日ニ於テ大正

六年七月十四日迄ノ分ヲ日割計算ニテ前払シ爾後

毎年一月十五日及七月十五日ニ於テ後六ヶ月分ヲ

前払スルモノトス

第五条 甲ハ本借款金ヲ受取タルトキハ直チニ乙ニ預金シ

必要ニ応シ隨時之ヲ引出スモノトス

但シ預金利子並ニ送金ノ方法ハ別ニ協定スルモノ

トス

第六条 本借款金額ハ無手數料ニテ之ヲ交附スルモノトス
第七条 本借款ハ期限前ト雖モ甲ハ參ヶ月前ノ予告ヲ以テ
全部又ハ一部ノ償還ヲ為スコトヲ得ルモノトス
第九条 甲ハ本借款ノ元利支払ニ対スル担保トシテ左ノ物
件ヲ乙ニ提供スルモノトス

中華民国国庫債券額面弐千五百万万元

第十条 甲ハ前条ノ担保物件全部ヲ其所載金額ノ領收ニ必
要ナル委任状ト共ニ北京ニ於テ乙ニ引渡シ乙ハ之
ニ対シ担保品預リ証ヲ甲ニ交附スルモノトス

第十二条 甲カ元利金ノ償還ヲ怠リタルトキハ乙ハ第十条
ノ担保物件ヲ任意ニ処分シ其元利金ノ弁済ニ充当
スルモノトス

第十三条 中華民国政府ハ本借款元利金ノ支払ヲ保証スル
モノトス

第十四条 乙ハ前条ノ保証及第九条ノ担保物件ヲ受取リタ
トス

レタル義カト察セラルニ付先以其点ニ付何分ノ義折返電
報ヲ請フ（奉天經由五月二十六日後一〇、五五）

三〇六 五月二十七日 本野外務大臣（ヨリ
貴電第六七六号ニ閲シ木村ハ時局ニ鑑ミ北京行ヲ見合スコ
トトナレリ

木村理事北京行見合ノ件

第四〇八号

本野外務大臣（ヨリ
貴電第六七六号ニ閲シ木村ハ時局ニ鑑ミ北京行ヲ見合スコ
トトナレリ

大日本帝国 年月日
中華民国 年月日

交通銀行

代表者 署名
朝鮮銀行

ハ不充分ナル件

三〇七 六月十二日 在中国林公使（ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

交通銀行顧問ハ銀行業務ニ精通スルノミニテ

第七六七号

三〇五 五月二十六日 在中国林公使（ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

木村理事派遣ニ付問合ノ件

第六七六号

交通銀行追加借款ニ關スル二十一日付貴信接到右ニ付テハ
篤ト卑見ヲ開陳シ閣下ノ御再考ヲ請ヒ度廉アル處其後ノ時
局変転ニ顧ミ木村理事派遣ハ當然見合セルコトニ決定セラ
木村理事派遣ハ當然見合セルコトニ決定セラ

機密第一七六号拙信ニ閲シ大蔵省側ニテハ銀行業務ニ精通
セルモノヨリ候補者物色中ナル趣仄聞セル所右候補者ニシ
テ支那ノ事情ニ通シ支那人ニ対スル手心ヲ了解シ居ルニ於
テハ至極申分ナキモ單ニ我銀行業務ニ精通シ居ル丈ケニテ
ハ到底満足ナル成績ヲ挙ゲ得ザルベシト懸念セラルニ付
其点ヲ考慮ニ入レ相当ノ支那通中ヨリ適任者ヲ推举スル様

三 対中国借款関係雑件（一） 三〇八

此上トモ御尽力相願度シ

三〇八 七月十九日 本野外務大臣宛（電報）

段祺瑞ヨリノ借款申込ハ四国團ニ対シ行ハシ
ムルヲ至当トシ交通銀行統借ハ飽迄実業借款
ノ性格ヲ維持セシムルヲ要スル旨稟申並請訓
ノ件

第一〇一三号

段一派復活ノ結果從前ノ行懸ニ顧ミ比較的簡易ナル方法ニ
ヨリ差向入用ナル政費ヲ得ンガ為交通銀行二千万円統借問
題ヲ提起スルニ至ルベキカト察セラル節アル處本件ニ閔
シ予メ左ニ卑見ヲ具陳シテ閣下ノ御考慮ヲ仰キタシ

曩ニ本統借問題ノ起リタル當時ニ於テハ黎大總統ノ下ニ國
民党系ニ属スル多數閣僚アリ段一派ニ於テ其理想遂行上表
向キ政費ヲ得ルコト殆ンド不可能ナリシ為已ムヲ得ズ交通
銀行ナル間接ノ機関ヲ通ジテ融通ヲ計ルコトトナリ又我方
トシテモ右ノ事情ニ顧ミ機宜ノ措置トシテ之ニ応スル外ナ
カリシ次第ナルガ今回ハ大ニ事情ヲ異ニシ即チ段ハ武力ニ
依リ兎モ角統一的内閣ヲ組織スルニ至リタル次第第故今回其

記拙信ニ対シ帝国政府ノ明確ナル御見解承知致置度ニ付何
分ノ義此上遲滞ナク詳細御垂示アランコトヲ望ム

（奉天中総七月十九日後十一時五十分）

三〇九 七月二十一日 小幡政務局長ヨリ

神野大蔵省理財局長宛

政治借款及実業借款ニ関スル林公使宛回電案

二付大蔵省ノ意見問合ノ件

附屬書 本野外務大臣ヨリ林公使宛回電案

挙啓陳者既ニ貴方ニ写及御送付置候外務大臣宛林公使來電
第九八四号及第一〇一三号ヲ綜合シ今般同公使ニ対シ別紙
写ノ通回電致度當省ノ意図ニ有之候處本件ハ貴省ニモ關係
ヲ有スル事項ナルニ付貴方ノ御内意一応承知致置度候ニ付
何分ノ御意見至急御回示相煩度此段得貴意候 敬具

（附属書）

本野外務大臣ヨリ在中国林公使宛回電案

貴電第一〇一三号御来示ノ次第八至極御同感ナリ就テハ今
般段政府ヨリ借款申込ニ接スル場合ニ於テハ其政治借款ニ
対シテハ之ヲ四国團ニ於テ引受ケルコトニ取計フコトト致
度右ハ内外ノ疑惑ヲモ解キ且我立場上モ有利ナリト思考ス

三 対中国借款関係雑件（一） 三〇九 三一〇

二七〇

内閣ヲ擁護スル為政費ヲ得ント欲セバ閣僚ノ議ヲ纏メ既定

ノ約束ニ從ヒ四国團ナル正當機関ニ向ヒテ借款ヲ申込ミ得
ルコトナリ又我方トシテモ四国團ニ向ヒテ多額ノ借款申
込ミアリタル場合結局其大部分ハ我ニ於テ引受ケ得ルニ至
ルベキ事情ニ顧ミ飽迄公平ナル態度ヲ表明スル為段政府ヨ

リ政費融通ノ申出ニ接シタル際ニハ先以テ四国團ニ交渉シ
然ルヘキコトヲ促ス方至当ナルヘシト存ス從テ他日交通銀
行ヨリ統借ヲ要求シ來リタル場合ニハ曩ニ我大蔵當局ニ於
テ確定セラレタリト伝ヘラル對支投資方針ニ從ヒ政治借
款ト実業借款トノ分界ヲ徹底的ニ明確ナラシムル見地ヨリ
シテ詳カニ其ノ用途ヲ詮議シ真實銀行業務救濟上所要ノ額
ニ限り統借優先權ヲ有スル我三銀行ヲシテ共同ニテ貸与セ
シムルコトトシ以テ万ニモ世上ヨリ我ニ於テ実業借款ノ
仮面ノ下ニ窃ニ政費ヲ融通スルモノナリトノ誤解ヲ招キ折
角増進シツツアル帝国政府ノ信用ヲ毀損スルカ如キコトナ
キ様十分留意スルコト緊要ナルヘシト思料ス將又本件ニ閔
シ三月二十五日附機密第一〇四号拙信ヲ以テ伺出タルニ對
シ今以テ何等御回示ノ廉ナク單ニ五月二十一日附貴信ヲ以
テ種々入込ミタル事情アル旨御内報ニ接シタル迄ナル處前

三一〇 七月二十四日 小幡政務局長ヨリ

政治借款及実業借款ニ関スル林公使宛回電案
二付大蔵省意見回示ノ件

上ニテ七月二十七日本野外務大臣林公使宛電報第五二六
号ヲ以テ発送セラレタリ

七月二十一日附御書面ヲ以テ林公使來電第九八四号及第一

三 対中国借款関係雑件 (一) 三一

二七一

○一三号ニ対スル御回電案ニ付キ当省内意御照会之趣了承大体ニ於テ異存無之但シ大借款ノ前貸ノ件ハ不得已場合ニハ四国団ニ於テ承諾スルナラハ我国ニ於テ独力ニテ之ヲ引受クルモ差支無之旨右御回電案ニ可然御加筆相成候様致度尚交通銀行二千万円統借問題云々ノ一節ハ削除相成度此段及御回答候 敬具

大正六年七月二十四日

大蔵省理財局長 神野勝之助

小幡局長殿

三一一 八月十七日 在中国林公使宛(電報)

交通銀行二千万円統借仮契約ヲ本契約トシ度

旨曹汝霖申出ニ付報告並右ニ關シ意見稟申ノ

件

第一一七一号 (八月十八日接受)

八月十六日曹汝霖來訪先般締結ノ交通銀行二千万円借款仮契約ヲ本契約ニ引直シタキニ付テハ其旨夫夫關係ノ向ヘ転達方並我方ニ於テ右ニ異存ナキ節ハ本契約締結ノ為適當代表者ヲ当地ニ派遣スル様取計方依頼シタキ旨申出タルニ付

款ノ担保ハ塩税又ハ其他ノ確実ナル担保ニアラズシテ單ニ國庫債券ノ一種アルノミ其他支那政府ノ保障ヲ取り付ケ得ルトスルモ是等ハ借款金額ニ顧ミ異例ニ属シ満足ナリトハ

申難シ尤モ帝國政府ニ於テ右ニ拘ラズ借款ヲ提供セラル御決心ナルニ於テハ是本使ノ力ノ及バザル所ニシテ政府ノ御随意ト申上グルヨリ致方ナキ所ナリ彼ノ微々タル山東借款

九文書附屬書ノ註参照

三一二 八月二十五日 在中国林公使宛(電報)
交通銀行二千万円統借問題ニ關シ回訓並山成
第六〇二号

貴電第一一七一号ヲ以テ縷陳ニ係ル御意見ハ本大臣ニ於テモ大体御同感ナルモ交通銀行借款ハ從来ノ行懸リモアリ支那側ヨリ其ノ実行ヲ希望スルニ於テハ當方亦好意ヲ以テ之ヲ成立セシムルコト穩当ノ措置ナリト思考ス而シテ本借款ハ無論實業借款ナルヲ以テ政治的色彩ヲ帶バシムルコトハ之ヲ避ケシメザル可ラザルハ勿論ニ有之尚統借借款ヲ実行スルニ當リテハ篤ト銀行内部ノ状況ヲモ調査セシメ借款資金ヲ交付スル前兼テノ内約ニヨリ當方ヨリ顧問ヲ入レ其整理ノ実行ヲ期セザル可ラズ就テハ近々台灣銀行理事山成喬六ヲ三銀行代表トシテ貴地ニ赴カシメ其ノ任務ヲ遂行セシムル計画ニシテ担保等ニ関シテハ同人貴地着ノ上詳細調査ノ筈ナリ曩ニ三銀行中ノ一銀行ヲシテ本件交渉ノ任ニ当ラシメムトセルニ対シ御來示ノ次第アリタルモ右ハ當時内外希望ス(終リ)

註 本野外務大臣堯林公使宛電報第五二六号ニ付テハ前掲三〇

三 対中国借款関係雑件 (一) 三二二

二七三

右様御承知アリタシ本件ニ關シテハ從來幾度トナク電信並書面ヲ以テ本使ノ意見上申ニ及ヒタルモ未タ満足ナル御回電ニ接セザルハ遺憾ノ至ナリ最近往電第一〇一三号ヲ以テ卑見詳細上申旁請訓シタルニ対シ貴電第五二六号ヲ以テ御回訓アリタル処主義上卑見ニ御同感ナルモノ、如キモ右貴電末段ニ於テ本件二千万円借款ノ件ニ付テハ本使ヲ經テ申出ヅル様大蔵大臣ヨリ訓示シアル旨附言相成リ即本件借款ノ提起ニ付テハ之ヲ拒否セラル御意向アルトモ見受ケラレザル次第ナルノミナラズ機密第一〇四号拙信に出ニ対シテハ今日迄御回答ニ接セザル次第ナリ昨日曹ノ説明ニヨレバ借款ハ素ヨリ交通銀行ノ借款ニ相違ナキモ取引上ノ關係ヨリ場合ニ依リ中國銀行ニ融通スルコトモ有之ベシトノコトニテ其政治借款ノ色彩ヲ帶ブルノ疑ハ依然トシテ變化ナク殊ニ過般西原當地立寄ノ節本使ヨリ本件借款ノ性質乃至必要ノ根拠等種々質問シタルニ同人ノ与ヘタル説明ハ遺憾ナガラ尚本使ヲ首肯セシムルニ至ラズ若シ支那政府ニシテ果シテ此ノ如キ巨額ノ借款ヲ起スノ必要ニ迫ルモノトセバ累次電票ノ通四国團體ナル正当機關ヲ經由スルコト当然ナルノミナラズ世間ノ疑惑ヲモ避ケ得ル次第ナリ將又本件借款

三一 対中国借款関係雑件（一） 三一三 三一四 三一五 三一六

二七四

ノ事情ニ鑑ミ三銀行協議済ノ上執リタル臨機ノ措置ニシテ
今日ニ於テハ最早旧来ノ如ク三銀行ヲシテ公然交渉ノ任ニ

当ラシメ差支ナント認メラルニ付右様取計フ次第ナリ詳
細ハ山成貴地着ノ上御聴取相成度シ

三一三 九月十四日 在本野外務大臣ヨリ
在中國林公使宛（電報）

山成喬六派遣ニ関シ秘密保持ニ付注意方ノ件

第六六三号
往電第六〇二号ニ関シ山成貴地行ノ用向世間ニ洩ルルトキ
ハ種々物議ヲ生スルノ虞モ有之當方ニ於テモ十分手配スペ
キニ付貴方ニ於テモ貴地新聞紙等ニ頭ハレ又本邦へ報道セ
ラルルカ如キコトナキ様特ニ御注意アリタシ為念

三一四 九月十五日 在本野外務大臣ヨリ
在中國林公使宛（電報）

交通銀行顧問ニ藤原正文ヲ決定ノ件

第六七〇号
貴電第七六七号ニ關シ交通銀行顧問ハ興業銀行外二行ニ於
テ法學士藤原正文ヲ推薦スルニ決定右ノ次第銀行側ヨリ直
接支那側へ申込ムコト、ナリタル旨大藏省ヨリ通知アリタ

三一六 九月二十三日 在本野外務大臣ヨリ
在中國林公使宛（電報）

交通銀行借款及中國銀行ヘノ融資問題ニ關シ

曹汝霖ノ出淵ニ對スル談話報告並交通銀行借
款ニ關シ四國側ニ對スル弁明振ニ付裏申ノ件

第一三四二号
財政總長ガ過日本使ニ向ヒテ交通銀行借款ニ異存ナキ旨竝

同時ニ中国銀行資金融通ヲ所望スル旨内話シタル次第ハ往
電第一三〇五号ヲ以テ報告シ置キタル所今回山成理事当地
着一応本使ト打合ノ上曹汝霖ニ會見シ借款ニ関スル商議ヲ
開始シタルニ付二十二日出淵ニ旨ヲ含メ曹ノ意向ヲ探ラシ
メタルニ同人ハ山成ヨリ提出シタル契約草案ハ大体ニ於テ
異存ナク政府保障ノ件モ已ニ政府部内ノ話合纏マリ居リ是
亦支障ナキ見込ナルモ打明ケテ云ヘバ此際交通銀行ノミ整
理資金ヲ得中国銀行依然其儘ト相成リテハ財政上ハ勿論条
理上モ甚ダ面白カラズ世間ニテハ進歩系ト交通系トノ間感
情阻隔シ居ルカノ如ク伝ヘラアルモ事実ハ之ニ反シ両者
ノ關係近來著シク接近シ殊ニ梁啓超ト自分ノ間柄ハ頗フ
ル良好円満ナルニ付何トカ此際日本側ニ於テ中国銀行ノ為
ニモ資金ヲ供給セラルル様切望ス尚同銀行ニ於テハ交通銀
行同様二千万円ヲ要スル由ナルモ結局一千万円ニテモ満足
スヘシト考ヘラルル旨ヲ語レルニ付出淵ヨリ曩ニ本使カ梁
啓超ニ告ケタルト同様中国銀行ニ対スル借款ハ順序トシ
テ先ツ四国團ニ提議スルノ外ナカルヘク其ノ節ハ日本側ニ
於テ好意的考慮ヲ与フルニ答ナラザルヘシト答ヘタルニ何
レ篤ト梁ト相談ノ上更ニ何分ノ申出ヲナスヘシト語リ最後

ルニ付右様御承知アリタシ

三一五 九月十五日 在本野外務大臣ヨリ
在中國林公使宛（電報）

山成ノ派遣ハ已ニ新聞紙ニ掲載サレタルモ出 来得ル限り發表セラレザル様注意スベキ件

第一三〇六号

貴電第六六三号ニ関シ山成渡來ノコトハ當地支那新聞ニ既
ニ掲載セラレタルノミナラス内地新聞記者等ハ已ニ疾ク承知シ居
ノアルヤニ聞ク兎ニ角當地新聞記者等ハ已ニ疾ク承知シ居
レル事柄ナリ去リナガラ御來示ノ次第モ有之ニ付出來得ベ
キ文發表セザル様可然諭示致スヘシ
(奉天中継九月十五日後一、五〇)

ニ交通銀行ノ二千万円ハ絶対ニ政費ニ流用セザルヘク且其
ノ中差向キ約三百万円ヲ支那ニ取寄セ残額ハ其儘日本ニ預
ケ置キ之レヲ引当ニ為替ノ運用ヲナス見込ナリト内話セル
由ナリ以上曹談話ノ次第ハ曩ニ梁ノ本使ニ語レル趣旨ト符
合スルニ付現ニ商議中ノ交通銀行借款ハ政府既定ノ御方針
通り進行セシメラルルコト本使ニ於テ別ニ異存ナキモ同時
ニ中国銀行ニ對シテモ援助ヲ与フルコトシ追テ支那側ヨ
リ四国團ニ申出デタル場合ニハ我方ニ於テ一千万円前貸ノ
例ニ倣ヒ結局ハ独力ニテ引受クル覺悟ヲナシ且民間ヨリ資
金調達ノ義困難ナルカ如キ場合ニハ政府ヨリ資金ヲ融通ス
ルコトシ遲滞ナク応シ得ル様今ヨリ然ルヘク御詮議アラ
ンコトヲ希望ス將又交通銀行借款成立ノ上ハ必然世上ノ問
題トナルヘキ所支那内政關係ニ基ク兎角ノ論議ノ如キハ格
別顧慮スル程ノ事ナカルベキモ四国團關係ニ於テハ十分留
意シ出来得ル限り誤解ヲ避クルコト緊要ナルヘシト存ズ此
点ニ付テハ政府ニ於テ既ニ借款供給ノ方針ヲ決定セラレタ
ル以上相當御用意アルベシト存セラルニ付至急御垂示ア
ランコトヲ切望ス本使一己ノ考トシテハ前回五百万円借款
ニ関シ予メ四国團ニ通知セザリシ例モアリ今回モ飽迄実業

三 对中国借款関係雑件 (一) 三一七 三一八

二七六

借款ノ立前ニテ押通シ契約成立後關係國側ヨリ質問ニ接シタル場合ニハ日本三銀行ニテ前契約ニ基キ交通銀行業務整理資金トシテ続借ニ応シタル次第及借款ノ大部分ハ日本ニ預置キ運輸資金ト為スモノナルコトヲ説明シ今回ノ借款力專ラ交通銀行ノ業務整理ヲ目的トスル銀行間ノ融通ニ過キザル次第ヲ納得セシムルコトニ努ムル外ナカルベシト存ス

三一七 九月二十六日

(在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報))

交通銀行借款ニ閲スル記事報道サレタル件

別 電 同日林公使発本野外務大臣宛電報第一三五二号
九月二十四日附滿洲日日新聞掲載ノ交通銀行借款ニ閲スル記事要領

第一三五一号

(九月二十七日接受)

貴電第六六三号ニ閲シ

往電第一三〇六号ヲ以テ申進タル通早速手配ヲ為シ置キタ

ル處二十四日ノ満洲日々新聞ニ二十三日東京發電トシテ別

電第一三五二号ノ如キ記事アリ右ハ本件真相ニ通ジ居ル向ヨリ漏レタルモノト認メラ尔斯カル消息東京方面ヨリ伝リ

往電第一三〇六号ヲ以テ申進タル通早速手配ヲ為シ置キタ

ル處二十四日ノ満洲日々新聞ニ二十三日東京發電トシテ別

電第一三五二号ノ如キ記事アリ右ハ本件真相ニ通ジ居ル向ヨリ漏レタルモノト認メラ尔斯カル消息東京方面ヨリ伝リ

今春陸宗輿來朝ノ際交通銀行借款五百萬円ヲ受授シ其後二千萬元ノ借款交渉中我銀行側モ氣乗セザル一方外務省側ノ反対ト支那進歩系ト交通系トノ確執ヨリ一時交渉不調ニ了リタルガ其後勝田藏相ガ飽迄成立セシメントテ銀行側ヲ勧説セシ結果表面ハ鮮銀、台銀、興銀ノ名義ニテ全部大藏省預金部ニテ引受クルニ決定シ成立ヲ見ルニ至レリ

三一八 九月二十八日

(在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報))

交通銀行借款契約調印済ノ件

第一三六三号

(九月二十九日接受)

往電第一三〇六号ヲ以テ申進タル通早速手配ヲ為シ置キタ

ル處二十四日ノ満洲日々新聞ニ二十三日東京發電トシテ別

電第一三五二号ノ如キ記事アリ右ハ本件真相ニ通ジ居ル向ヨリ漏レタルモノト認メラ尔斯カル消息東京方面ヨリ伝リ

往電第一三〇六号ヲ以テ申進タル通早速手配ヲ為シ置キタ

ル處二十四日ノ満洲日々新聞ニ二十三日東京發電トシテ別

電第一三五二号ノ如キ記事アリ右ハ本件真相ニ通ジ居ル向ヨリ漏レタルモノト認メラ尔斯カル消息東京方面ヨリ伝リ

ハ既ニ供貴覽置候林公使來電第一三四二号末段林公使意見ノ通取計ノ外ナカルヘシト被存候へ共別ニ何等御意見有之候哉貴見一應承知致度回訓ノ都合モ有之候ニ付何分ノ儀可成至急御回示相成度此段及御照会候也

註 別紙林公使來電第一三六七号ハ前掲ニ付省略

交通及中國兩銀行借款問題ニ閲シ電訓方ノ件

第一三六七号

(九月二十九日接受)

往電第一三〇六号ヲ以テ申進タルニ付テハ往電第一三四二号四

國側ニ対スル弁明ノ件及往電第一三五八号中國銀行借款ノ

件至急電訓アリタシ

交通銀行借款ニ閲スル件

三一〇 十月一日

(本野外務大臣ヨリ
勝田大藏大臣宛)

交通銀行第二次借款ニ閲シ四国團ニ対スル弁

明振ニ付意見問合ノ件

政機密送第一九五号

交通銀行借款ニ閲スル件

今般調印ノ交通銀行第二次借款ニ閲シ四国團ニ対スル弁明

振ノ件並中國銀行借款申込ノ件ニ閲シ在支林公使ヨリ重ネ

テ別紙^(參)写ノ通來電有之然ルニ同電後段ニ閲シテハ既ニ御協議済ノ通電訓致置候処前段四国團ニ対スル弁明振ニ閲シテ

三 对中国借款関係雑件 (一) 三一九 三二〇 三二一 三二二

テハ頗ル有害ナル影響ヲ及ボスノミナラズ当地ニ於ケル取締モ自然不可能トナル次第故其點御含置アリ度シ尚独リ本件ニ限ラズ重要ナル交渉事件ノ消息外間ニ漏レザル様此上トモ十分注意方篤ト関係ノ向ト御打合相成様致度シ (二十六日)

(別 電)

九月二十六日在中国林公使發本野外務大臣宛電報

九月二十四日附滿洲日日新聞掲載ノ交通銀行借款ニ閲スル記事要領

第一三五二号別電

(在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報))

三一九 九月二十九日

(在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報))

交通及中國兩銀行借款問題ニ閲シ電訓方ノ件

第一三六七号

(九月二十九日接受)

往電第一三〇六号ヲ以テ申進タルニ付テハ往電第一三四二号四

國側ニ対スル弁明ノ件及往電第一三五八号中國銀行借款ノ

件至急電訓アリタシ

交通銀行借款ニ閲スル件

第一三九〇号

(十月四日接受)

往電第一三四二号末段ニ付シ今以テ何等御回訓ニ接セザル

所交通借款条件大要十月三日各新聞ニ掲載セラレ最早秘密ニ附スルコト能ハザルニ付當館ニ質問シ来レル向ニ対シテハ条件ノ大要ヲ打明ケ且ツ前記往電末段ノ意味ヲ敷衍説明スル積ナリ右様御諒知ヲ請フ (奉天中継十月三日後三、三五)

三二一 十月三日

(在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛)

交通銀行借款ニ閲シ四国團ニ対スル弁明振ノ

件

二七七

十月一日付政機密送第一九五号ヲ以テ御照会相成候交通銀行借款ニ関シ四国團ニ対スル弁明振ノ件ハ林公使意見ノ通り取計フコトニ異議無之候右及御回答候也

大正六年十月三日

大蔵大臣 勝田主計(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

三一三 十月四日 本野外務大臣(ヨリ)
在中国林公使宛(電報)

交通銀行借款ニ関シ質問アルベキ場合ニ対ス

ル弁明振ノ件

第七二九号 至急

貴電第一三九〇号ニ關シ貴電第一三四二号末段ノ通説明セ

ラル様致度當方ニ於テモ他ヨリ質問ニ接スルトキハ同様説明スル積ナリ為念

三一四 十月五日 在香港鈴木總領事(ヨリ)
本野外務大臣宛(電報)

梁士詒ノ日本行用件等ニ關シ報告ノ件

公第二九一号 (十月十五日接受)

大正六年十月八日

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

交通銀行借款問題等ニ關スル新聞記事報告ノ件

本月四日発行ノ北京天津タイムスハ今次成立ノ交通銀行問題ニ關連スル北京通信員ノ通信ヲ掲載致居候處同通信員ハ最近日本ガ支那ノ交通財政界ニ確乎タル勢力ヲ扶植シ他競争者ヲ排除スルニ努力シツ、アル旨ヲ指摘シ道途伝フル処ニ拠レハ今次成立セル交通銀行借款ノ如キモ由来日本ノ「エーゼント」トシテ目セラレ自己ノ権力擁護者ニ向テハ如何ナル代償ヲ寄与スルモ辞セザル交通總長曹汝霖ノ責任ニ帰スヘキモノナリトノコトナルカ右風説ノ真偽ハ姑ク之ヲ置キ曹總長カ右借款ニ干シ何等他国資本家ニ籌ルコトナク而カモ極メテ秘密ノ裡ニ之力商議ヲ遂行シタルノ一事ハ同総長カ他國ヲ排斥セムトスル日本ノ籌策ヲ掩護シツ、アルノ一証左ト云フノ外ナカルヘシ更ニ財政總長梁啓超モ亦財政問題ニ關シ日本側ト妥商ヲ進ムルノ意図ヲ有シ之ヲ他

梁士詒ノ日本行ニ付テハ往電第四三号ノ通ナル處同氏十月四日來訪其談ニ依レバ本月二十六日天津丸ニテ日本ニ向ヒ神戸横浜ニ暫時滯在ノ上東上各方面ノ名士ヲ訪問シタキ考ナルガ交通銀行及中日滙業銀行ノ用件モアルヲ以テ二ヶ月位ハ滯京スルコト、ナルベク一旦上海ニ帰リ北京行ハ其上ノ考ト為スヘシト尚ホ同氏ハ袁世凱ニ対スル日本ノ悪感ハ日支經濟上ノ提携ヲ妨ケタルコト甚大ナルガ自分ハ從来ノ主義ヨリスルモ右ノ如キ提携ヲ最モ必要ト認メ居ルヲ以テ今回モ此方針ニ進ムベク殊ニ滙業銀行ニハ力ヲ入ル、筈ナリト、同氏ハ北京ヨリ財政總長ニ就任ノ勧告ヲ受ケ居ルヲ以テ今回ノ日本行ハ先以テ日本朝野ノ支那政局ニ対スル趨勢ヲ探リ且ツ我同情ヲ求メントノ底意アルカニ察セラル在支公使ヘ電報セリ

三一五 十月八日 在中國林公使宛(ヨリ)

交通銀行借款問題ニ關スル京津タイムス記事

切抜送付ノ件

附屬書 十月四日附右京津タイムス記事切抜

(附屬書)

十月四日附北京天津タイムス切抜

交通銀行借款問題ニ關スル件

JAPANESE FINANCIAL HOLD

財政問題ニ關シ日本側ト妥商ヲ進ムルノ意図ヲ有シ之ヲ他

三 対中国借款関係雑件 (一) 三一五

Bank of Communications the Japanese have secured one of the holds on China which they have so long striven for. For some time past it has been their aim to secure control of China's communications and finances, for by this means they hope to gain a strong position over industrial and commercial fields so that they will be able to stifle all competition in the future.

Tsao Ju-lin, Minister of Communications, who was so energetic in pushing through the Shipping deal which placed the Government in such an unfortunate position, was also responsible for the present deal. In many quarters Mr. Tsao is looked upon as a Japanese agent, and one who is willing to turn over China's best assets to those who have promised him their support. This report may or may not be true, but the fact that Mr. Tsao did not make any attempt to find out whether financiers of other nationality would not give him better terms and that as far as he possibly could he carried on the negotiations with the greatest secrecy, leads to the belief that he is favouring the Japanese to the exclusion of everyone else. The terms of the loan agreement for the new deal have not yet been fully published and until they are, the deal will be

they should not be carried on openly. As long as men like Tsao Ju-lin have it in their power to conduct and sign deals with men of any nationality without their being carefully gone over by experts so that the interests of this country can be protected, it is impossible to expect that China's potential wealth will be enjoyed by future generations of the Chinese. No blame can be attached to the Japanese for taking advantage of the situation. Business is business and it is only natural that when the Chinese officials are willing to cast concessions at their feet in the hope of securing their support in their official careers or something more tangible, that they should make hay while the sun shines. At the present moment the Japanese are keenly watching for opportunities to expand their influence in China, for they realize what vast opportunities there are here. They are laying their plans for the future and laying them well. The Chinese on the other hand are only thinking of the present. Their responsibility to coming generations and their duty to posterity, sit lightly on their shoulders. As long as their rice-bowl is full what matters the future to them.

One can in fact imagine them naively asking, "What

has Posterity ever done for me?"

11111 十四十一日 指立興業銀行總裁
小幡政務局長宛

袋子國體報紙 11月11日
秘文第30号
(十四十一日密文)

大正六年拾月拾日止

株式日本興業銀行
總裁 志立 鉄次郎

政務局長 小幡 政務局長

拜啓先般來交涉中「有九候交通銀行借款金額十萬日也本日
貸出實行致候
右御報知申上候

敬具

11111 十月十一日 本野外務大臣
(在英國珍田大使及在露國內田大使宛
電報)
第六十九号 (英宛)
第七十八号 (露宛)

袋子國體報紙 11月11日
「交銀銀行」110万日借款契約成立
11月11日

本年一月11日興業銀行、台灣銀行及朝鮮銀行と交通銀行
とハ置キ成立ヤル同銀行業務整理ノ由のスル裏業借款五

三 対中国借款関係雑件 (一) 三一八 三二九

二八二

百万円ノ続借トシテ二千万円借款ノ儀從来屢々支那側ヨリ懇請ノ次第アリ且ツハ同行ノ続借ニ付テハ先ツ三銀行ニ協議スヘキ旨前契約ニ規定ノ次第モアリ旁今回三銀行ニ於テ支那側ノ希望ヲ容ルルニ決シ九月二十八日(一)金額、二千万円(二)目的、交通銀行業務整理(三)担保、支那國庫債券額面二千五百万元(四)期限、三年(五)交通銀行カ借款期限内必要ノ資金ヲ外国ヨリ借入レムトスルトキハ予メ我三銀行ニ協議スルコトノ条件ニテ彼我銀行間ニ右続借ノ成立ヲ見ルニ至レリ尚本借款ノ大部分ハ運輸資金トシテ日本ニ預ケ置クコトト相成居レリ又交通銀行業務整理ノ実行ヲ期スル為前契約ニ基キ法学士藤原正文ヲ交通銀行顧問ニ招聘セリ

(在英大使宛ノ分ニハ)

右為参考在仏、米、伊各大使ニ転電アリタシ
ト相成居レリ又交通銀行業務整理ノ実行ヲ期スル為前契約ニ基キ法学士藤原正文ヲ交通銀行顧問ニ招聘セリ
(在英大使宛ノ分ニハ)

右為参考在仏、米、伊各大使ニ転電アリタシ

三一八 十月十四日 在中國林公使(ヨリ)
本野外務大臣宛(電報)

交通銀行二千万円借款元利二対スル政府ノ保

証確認アリタル件

第一四四七号(至急)

(十月十四日接受)

交通銀行二千万円借款契約備案方八日附ヲ以テ外交部ヨリ

秘文第三四号
大正六年十月十六日
(十月十八日接受)

三二九 十月十六日 小幡政務局長宛
志立興業銀行總裁

同意ノ件

秘文第三四号

大正六年十月十六日
(十月十八日接受)

日本興業銀行

外務省政務局長 小幡 西吉殿

總裁

志立 鉄 次 郎

拝啓先般交通銀行顧問トシテ藤原正文氏ヲ推薦スル旨曹汝霖氏ニ通知致置候處昨日別紙写ノ通り返書有之候ニ付御高覽被下度候

敬具

(別 紙)
遙復者九月二十九日

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿
交通銀行借款契約備案方ノ件

台函祇悉關於三銀行推薦藤原正文君為本行顧問一節本行甚表同意查本行於本年一月八日關於此節曾致貴行及朝鮮台灣兩銀行代表一函除依拠該函正式聘任藤原正文君為本行顧問外特此函復敬希查照分別轉告為荷此致株式会社日本興業銀行總裁

志立 鉄 次 郎 閣 下

曹 汝 霖

六年十月八日

三三〇 十月十六日 在中國林公使(ヨリ)
本野外務大臣宛

交通銀行借款元利金支払二対スル政府ノ保証

確認ノ件

附屬書一 十月八日附汪外交總長ヨリ林公使宛來翰写
二 十月九日附林公使ヨリ汪外交總長宛往翰写
三 十月十三日附汪外交總長ヨリ林公使宛復翰写

(十月二十二日接受)

機密第三三七号
大正六年十月十六日
在支那

三 対中国借款関係雑件 (一) 三三〇
特命全權公使男爵 林 権 助(印)

照會二接シタルモノ政府保証ニ關シ何等明示スル所ナカリシニ付直ニ書面ヲ以テ掛合置キタルニ十三日付公文ヲ以テ民國政府本借款元利保証ノ件ハ財政部ニ於テ取調ノ上承認シ備案ヲ經タルモノナル旨確認シ來レリ至急三銀行ニ御伝ヲ請フ

照會ニ接シタルモノ政府保証ニ關シ何等明示スル所ナカリシニ付直ニ書面ヲ以テ掛合置キタルニ十三日付公文ヲ以テ民國政府本借款元利保証ノ件ハ財政部ニ於テ取調ノ上承認シ備案ヲ經タルモノナル旨確認シ來レリ至急三銀行ニ御伝ヲ請フ

二八三

三 对中国借款関係雑件 (一) 三二〇

二八四

借款合同一分照会

貴公使査照備案可也須至照会者附件

右 照 会

大日本国欽命駐華全權公使林

中華民国六年十月八日

(右和訳文)

以書翰致啓上候陳者交通銀行ノ呈称ニ依レハ本銀行ハ現ニ

日本興業、朝鮮、及台灣ノ三銀行ト暫時日金貳千万円ノ借款ヲ議定シ期限三年、利子七分五厘、借款全額ヲ無手數料

ニテ交付シ國庫証券ヲ担保品トナス条件ニテ九月二十八日

正式調印ヲ了シタル趣ニ付該契約写日本公使ニ照会アリ度

旨財政部ヨリ申越有之候依テ前記借款契約写一部茲ニ及送

付候間備案相成度此段照会得貴意候

中華民国六年十月八日

支那共和国外交總長 汪 大 變

日本帝国特命全權公使男爵 林 権助殿

(附屬書二)

十月九日附林公使ヨリ汪外交總長宛往翰写

以書翰致啓上候陳者本月八日附貴翰行字第一三九号ヲ以テ

照会事交通銀行向日本興業朝鮮台灣三銀行議借日金二千
万元一事接准十月九日
來照業已閱悉查此項借款本利由中華民国政府保証一節業
經財政部核准備案相應照復

照 会

外交總長汪

日本帝国特命全權公使男爵 林 権助
支那共和国外交總長 汪 大 變

御回示相成度此段照会得貴意候

大正六年十月九日

敬具

客月二十八日貴国交通銀行ト日本興業、朝鮮、台灣三銀
行團トノ間ニ締セル日本貨幣貳千万円統借款契約書写御送
付相成右備案方御照会之趣致敬承候然ニ該契約第十三条ニ
依レハ本借款元利金ノ支払ハ貴国政府ニ於テ保証セラル
コトト相成居リ右ハ固ヨリ已ニ貴国政府ニ於テ承認セラレ
タル義トハ確信致候得共前記貴翰中何等明記スル所ナキニ
付本件三銀行團ニ転達上為念確認ヲ得度候條何分ノ義至急

御回示相成度此段照会得貴意候

敬具

貴公使査照可也須至照会者

右 照 会

大日本国欽命駐華全權公使林

中華民国六年十月十三日

(右和訳文)

中華民国六年十月十三日

汪 外 交 總 長

外務省政務局長 小幡 西吉殿
拝啓今回成立致候支那交通銀行ニ對スル二千万円借款元利
金仕払ニ対シ民國政府保証確認ノ儀ニ付在北京林公使ニ於
テ種々御配慮被成下候趣山成台灣銀行理事ノ報告ニ依リ逐
一承知仕候處右保証書類ハ債権三銀行ノ為メ弊行ニ於テ保
管致置度候間本月十四日北京林公使發本野外務大臣宛電報
第一四四七号末尾記載ノ財政部確認書貴省ニ到達致居候ハ
バ何卒御交付被成下度此段得貴意候

敬具

以書翰致啓上候陳者交通銀行カ日本興業朝鮮台灣三銀行ヨ
リ日金二千万円ヲ借款シタル件ニ關シ十月九日附貴翰ヲ以
テ御申越ノ趣致閱悉候查スルニ此項借款ノ元金利子ハ中華
民國政府ニ於テ保証ストノ件ハ已ニ財政部ニテ取調ノ上承
認シ備案ヲ経タルモノニ有之候間左様御承知相成度此段照
復得貴意候

敬具

三三一 十月二十四日 志立興業銀行總裁ヨリ

小幡政務局長宛

交通銀行借款元利金支払ニ對スル中國政府ノ

保証確認書交付方依頼ノ件

秘第參参考

三 对中国借款關係雑件 (一) 三三一 三三二

第一四九九号

報 告 ノ 件

別 電

同日林公使發本野外務大臣宛電報第一五〇〇号

右社説ノ大要

三三二 十月二十七日 在中國林公使ヨリ

本野外務大臣宛(電報)

交通銀行借款ニ關スル北京天津タイムス社説

十月二十六日ノ「北京天津タイムス」ハ大要別電第一五〇号

二八五

○号ノ如キ社説ヲ掲ゲ且別電第一五〇一號及第一五〇二號ノ如キ北京通信ヲ掲載セリ

註 林公使來電第一五〇二

(別電) 七月二十二日在中国林業委員會本部子午路大三包電報股第一二

十一月二十七日在中國林公何癸未野外務大昌列會第一五〇

交通銀行借款ニ関スル京津タイムス社説ノ大要

第一五〇〇号
(十月二十八日接受)

最近ニ於ケル日本資本家ノ活躍ハ端ナクモ幾多ノ論難ヲ惹

ニ於ケル要求ノ貫徹ヲ期セントスルモノノ如シ斯クシテ日
本ハ支那軍器ノ製造運用ニ関スル管理ノ実權ヲ掌握セント
スルモノニシテ之レ一面ニ於テ南京鉄鉱獲得ニ関スル野心
ノ萌芽トモ見ルベク而シテ曩ニハ漢治萍及所属鉱山經理ノ
実權ヲ其ノ手中ニ収メ今又以上ノ利權ヲ獲得セハ事実ニ於
テ日本ハ支那鉱山ヲ独占スルモノト謂ハサルヘカラサルナ

最近ニ於ケル日本資本家ノ活躍ハ端ナクモ幾多ノ論難ヲ惹起シタルガ其ノ内敵船処分問題ト交通銀行借款トハ慮ニ交通總長曹汝霖ニ於テ其ノ責ニ任スヘキモノナリ敵船処分問題ガ支那ノ名譽ヲ毀瀆スルハ既ニ吾人ノ極論セル通ニシテ交通銀行ノ借款亦其ノ必要アルハ明白ナルモ吾人ハ毫モ自由ノ利益ト名譽トヲ顧ミザルノ政派ヲシテ援助ニ依テ之ヲ遂行セシメタルノ理由ヲ解スル能ハザルノミナラズ更ニ曹汝霖ガ日本銀行ニ附与スルニ将来交通銀行資金調達ニ対スル優先權ヲ以テシタリト曰フニ至テハ吾人夫レ何ヲカ曰ハシヤ日本ノ活躍ハ更ニ之ニ止マラズ進ンデ軍器供給ノ為三千万円ノ借款契約ヲ締結シ其ノ条件トシテ日支合弁ニヨル兵器廠ノ設立並技師及材料ノ供給ヲ約シ以テ千九百十五年

ル愚ヲ敢テセンヤ若シ夫レ南京鉱山問題ニ至テハ前財政總長ノ不法ナル百万円借款ニ其ノ端ヲ発スルモノ而カモ現政

府当局ニシテ一片愛國ノ赤心アリトセバ断々乎トシテ之ヲ排斥シ飽迄モ富源ノ保存ヲ期セサルヘカラサルヤ論ナシ若シ外資本ノ注入ヲ容認シ進ンデ外國技術家ノ招聘ヲ認許スルガ如クンバ遂ニ千載ノ悔ヲ貽スニ至ルベシ

三十一
十月二十七日 小野興業銀行副總
小幡政務局長宛

附屬書 九月二十八日附右契約書

支借第一三一號
(十月二十九日接受)

大正六年十月廿七日

株式会社日本興業銀行

副總裁 小野英二郎(印)

外務省政務局長

小編 西吉殿

拏啞

本月四日付ヲ以テ交通銀行二千万円統借契約書写不取敢御送付致置候処本契約書到着致候ニ付右日支兩文写茲許御送

三、对中国借款关系杂件（一）

三 対中国借款関係雑件（一） 三三三

二八八

ノトス

甲ガ前項ノ期日ニ利子ノ支払ヲ怠リタルトキハ之ニ対シ

年七分五厘即チ日本金貨壱百円ニ対シ日本金貨七円五拾
銭ノ割合ヲ以テ延滞利子ヲ甲ヨリ乙ニ支払フモノトス

第五条 甲ハ本借款金ヲ受取リタルトキハ直チニ乙ニ預金
シ必要ニ応シ隨時之ヲ引出スモノトス

但シ預金利子并ニ送金ノ方法ハ別ニ協定スルモノトス

第六条 本借款金額ハ無手数料ニテ之ヲ交付スルモノトス

第七条 本借款金額ノ返済及支払其他總テ受渡ハ東京ニ於
テ之ヲ為スモノトス

第八条 本借款ハ期限前ト雖モ甲ハ参ヶ月前ノ予告ヲ以テ
全部又ハ一部ノ償還ヲ為スコトヲ得ルモノトス

第九条 甲ハ本借款ノ元利支払ニ對スル担保トシテ左ノ物
件ヲ乙ニ提供スルモノトス

中華民国国庫債券額面貳千五百万元

第拾条 甲ハ前条ノ担保物件全部ヲ其所載金額ノ領收ニ必
要ナル委任状ト共ニ北京ニ於テ乙ニ引渡シ乙ハ之ニ対シ

担保品預リ証ヲ甲ニ交付スルモノトス

第拾壹条 甲カ元利金ノ償還ヲ怠リタルトキハ乙ハ第拾条

（右漢文）

中華民国交通銀行（以下称甲）因為整理業務除於大正六年
一月二十日（中華民国六年一月二十日）与代表日本興業朝

鮮台灣三銀行團之日本興業銀行（以下称乙）訂立日金五百
万円合同外繞借日金貳千万円協定条款如左

第一条 此項借款金額為日金貳千万円

第二条 此項借款還本自本合同簽押之日起參年為限即日
本帝国大正九年九月二十七日中華民国九年九月二十七日
為止

第三条 此項借款利息按年利七釐五毫計算即每日金壹百
円付利息日金七円五拾錢

第四条 此項借款第一回利息自交款之日起至大正七年一
月十四日止按日計算先付此後每年於一月十五日及七月十
五日將後六個月利息前期交付

前項利息甲如遲期交付對於應付利息按照年利七釐五毫交
遲付利息於乙

第五条 甲收到此項借款時即存於乙隨時提出應用但存款
利息及匯款方法另行協定

第六条 此項借款足額交付並無經手費用

ノ担保物件ヲ任意ニ処分シ其元利金ノ弁済ニ充當スルモ
ノトス

第拾弐条 甲ハ本借款期限内必要ノ資金ヲ外国ヨリ借入レ
ントスル場合ニハ予メ乙ニ商議スルモノトス

第拾叁条 中華民国政府ハ本借款元利金ノ支払ヲ保証スル
モノトス

第拾肆条 乙ハ前条ノ保証及第九条ノ担保物件ヲ受取タル
後ニ於テ第一回ノ利子ヲ控除シタル本借款金額ヲ東京ニ
於テ甲ニ交付スルモノトス

本契約書ハ日支兩文ヲ以テ各式通ヲ作成シ調印シ甲乙互ニ
各老通ヲ保有スルモノトス若シ本契約ニ關シ解釈上疑義ヲ
生シタルトキハ日本文契約書ニ依リ解決スルモノトス

大日本帝国大正六年九月貳拾八日

中華民国第 六 年九月貳拾八日

交通銀行

總理 曹汝霖

協理任鳳苞

株式会社日本興業銀行總裁志立鉄次郎代理

株式会社台灣銀行理事 山成喬六

中華民国 六年九月二十八日

三 対中国借款関係雑件 (一) 三三四 三三五

二九〇

株式会社日本興業銀行總裁志立鉄次郎代理

株式会社台灣銀行理事

交通銀行總理

交通銀行協理

曹 汝 霖
任 凤 苞

山 成 喬 六

一 興亞公司借款

右訓令トシテ紐育、「シカゴ」ニ転電アリタシ

三三四

一月八日 本野外務大臣ヨリ
在米國佐藤大使宛(電報)

三三五 一月十日 上原參謀總長(電報)

保利公司借款成立ニ関シ報告ノ件

約二関連シ右資金ノ出所ニ付取調方訓令ノ件

(一月十一日接受)

財政部ト保利公司トノ間ノ借款及制錢收鍊契

電報

一月十日 午前一〇時二〇分発
午後七時三八分着

支普第七号

參謀總長宛

斎 藤 少 将

客臘末支那財政部ハ支那全國商務總會連合会ノ手ニテ設ケタル保利公司トノ間ニ五百萬元ノ借款契約及資金五百萬元ヲ以テスル制錢收鍊ニ關スル契約ヲ締結シタル趣ニテ當時偶々「ゼンクス」博士ヨリ財政總長ニ対シ米支鐵道交渉ノ際ニ於ケル其援助ニ對スル報酬トシテ制錢六万噸ノ買收權ヲ要求シ來タリタル趣ノ報道モ伝ハリタルヲ以テ旁々本件資金等ハ米國其他ノ外國筋ト何等カ關係ナキヤ目下在支公

使ニ於テ折角取調中ノ處前在本邦支那公使陸宗興ノ芳沢ニ語ル處ニテハ保利公司ノ出資ハ Anderson Mayer 又ハ Carey ノ如キ米國資本家ノ關係セルモノナリトノコトナルカ貴官ニ於テモ本件資金等ハ米國側トノ間ニ何等關係ナキヤ取調回電アリタシ

スルノ運ニ至リシカ愈々昨九日ノ衆議院ニ提出セラレ討議

ノ結果原案ニ一部ノ修正ヲ加ヘテ通過セリ(一月七日支常報一號参照)

閩東都督參謀長、支那駐屯軍司令官、青島參謀長、青木中將、中支那司令官通報済

三三六 一月十一日 在紐育矢田總領事ヨリ

本野外務大臣宛(電報)

三三七 一月十一日 在中國林公使ヨリ

本野外務大臣宛(電報)

保利公司ト米國筋トノ關係ニ付鮑宗漢ノ船津

ヘノ内話報告ノ件

第三三号

往電第七号ニ關シ一月十日夜船津カ独逸商「シーメンス」

商業ノ買辦鮑宗漢ニ面会シタル序ヲ以テ同公司ノ件ヲ尋ねタルニ同人ハ商務總會連合会会长呂達先及副會長金森等ト

ハ極メテ懇意ノ問柄ニテ本件計画ニ關シ種々相談ニ与リタル由ナリ現ニ同公司ハ今回財政部トノ契約ニ基キ調印後三ヶ月内ニ五百萬元ヲ政府ニ交付スルコトトナリ居ルモ今尚十分ノ準備整ハサルタメ当事者等百方奔走ノ末楊度カ同人所有ノ湖南「アンチモニー」鉱山会社株券ヲ担保トシテ差支ナキ旨承諾シタルニ付早速自分(鮑)ノ斡旋ニテ德華銀行ニ借款ヲ申込ミタルモ同銀行ニテハ証券ノ担保ニテハ貸出來ストテ之レヲ拒絕シタルヨリ更ニ「アンダーソン、カンパニイ」カ關係シ居ルヤモ計ラレズト思ハル節ナキニアラス尚他ノ方面ニ付内探中
本電在米大使ヘ転電セリ

三 対中国借款関係雑件 (一) 三三六 三三七

二九一